

2023年1月19日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報サステナビリティ推進部：岡田、呉藤
 (問合せ先:03-6887-1274)

20代の金銭感覚についての意識調査 2023

20代の貯蓄額 平均 64 万円、前回調査から 4 万円の減少

「現在の貯蓄状況に不安を感じている」74.0%、20代後半女性では 80.0%

仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できる？ 平均は 2,348 万円、前回調査から 26 万円の増加

「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」65.9%、女性では 79.2%

20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇

20代の半数以上が 1 人目の子育てに前向きになるのは「年収 700 万円」、前回調査からハードルが上昇

20代有職者の目標年収 平均 755 万円、前回調査から 50 万円の増加

学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”

1位「資産形成・資産運用」2位「保険・リスク管理」3位「生活設計」4位「家計管理」5位「お金のトラブル」

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:金子 良平、<https://www.smbc-cf.com/corporate/>、サービスブランド「プロミス」)は、2022年11月25日~28日の4日間、20歳~29歳の男女を対象に「20代の金銭感覚についての意識調査2023」(*)をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

*前回調査である「20代の金銭感覚についての意識調査 2022」は2021年12月に調査(2022年1月13日発表)しております。

- TOPICS -

【20代のお小遣い・貯蓄事情】 p.3~p.9

- ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 36,828 円、前回調査から 4,268 円の増加 …p.3
- ≫ 20代の貯蓄額 平均 64 万円、前回調査から 4 万円の減少 …p.4
- ≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」74.0%、20代後半女性では 80.0% …p.5
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分」91.6% …p.6
- ≫ 「老後が楽しみ」22.6%、前回調査から 5.0 ポイントの下降 …p.6
- ≫ 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できる？ 平均は 2,348 万円、前回調査から 26 万円の増加 …p.7
- ≫ 「預貯金をしている」前回調査から 5.6 ポイント上昇し 63.9%、預貯金している金額は平均 36,369 円/月 …p.8
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」15.9%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 16,477 円/月 …p.8
- ≫ 預貯金を続けるために行っている工夫
 1位「定期的に通帳残高をみる」2位「毎月一定額を預貯金する」3位「目標額を設定する」 …p.9

【20代の消費意識と消費実態】 p.10~p.23

- ≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 43,257 円/月、前回調査から 3,349 円の増加 …p.10
- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 20,564 円/月 …p.11
- ≫ 今年、お金を使ったもの・ことのうち、一度の支払い額が最も高額だったもの 1位「旅行・レジャー」2位「車」3位「服」
支払い額の平均は「旅行・レジャー」134,260 円、「車」2,414,789 円、「服」39,333 円 …p.11
- ≫ 節約のために行っていること 1位「貯めたポイントを利用」2位「クーポンを利用」3位「100 円ショップを利用」 …p.12
- ≫ 「後払い決済サービスを利用したことがある」20代の3人に1人
後払い決済サービスで購入したもの 1位「ファッション用品」2位「化粧品」3位「日用品」 …p.13

- >> ゲーム課金に対する意識
 「お金を使ってもゲームを有利に進めたい」13.6%、「お金を使わないと楽しく遊べない」20.3%
 「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」16.1% …p.14
- >> 「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」39.6%、女性では前回調査から 7.4 ポイントの下降 …p.14
- >> 「ゲーム課金をしている」15.5%、かけている金額は前回調査から 834 円増加し平均 5,638 円/月 …p.15
- >> 「ゲーム課金に後悔したことがある」23.6%、男性では 29.2% …p.15
- >> サブスクリプションサービスにかけている金額の全体平均は 1,553 円/月、前回調査から 85 円の増加 …p.16
- >> 「現在、投資をしている」26.7%
 ひと月あたりに投資に回している金額は平均 26,005 円、前回調査から 13,599 円の大幅減少 …p.18
- >> 「自己投資にお金をかけている」28.5%、かけているお金は平均 6,856 円/月 …p.20
- >> 「自分磨きにお金をかけている」65.9%、かけているお金は平均 9,162 円/月 …p.20
- >> 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」15.4%
 かけているお金は平均 4,004 円/月、前回調査から 311 円の増加 …p.21
- >> 社会のためになる商品・サービスにかけているお金 女性では平均 4,763 円/月、男性と比べて 1,359 円高い結果に …p.21
- >> 「エシカル消費をしたことがある」45.7%、北海道・東北エリアでは 52.2% …p.22
- >> エシカル消費として積極的に買いたいもの 1位「地産地消になる商品」2位「省エネ商品」 …p.22

【20代のマネー意識】 p.24～p.28

- >> “おごり・おごられ”に対する意識 「人におごりたくない」37.2%、「人からおごられたくない」25.5% …p.24
- >> 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」50.6%、女性では 61.6% …p.24
- >> 「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」63.0%、女性では 74.8% …p.24
- >> 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」65.9%、女性では 79.2% …p.25
- >> 「幸せになるにはお金が必要」74.1%、女性では 82.0% …p.25
- >> 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」69.8%
 変化したきっかけ 1位「アルバイトを始めた」2位「クレジットカードを作った」3位「就職した」4位「一人暮らしを始めた」 …p.26
- >> 夢や目標を実現するための費用の準備方法
 1位「働く」2位「預貯金する」3位「不用品を売る」4位「クレジットカード・ローンを利用する」5位「投資する」 …p.27
- >> 「投資」「クレジットカード・ローン利用」のメリット・デメリットの理解率は約 3 割にとどまる …p.28

【ライフイベントと収入事情】 p.29～p.33

- >> 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇 …p.29
- >> 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」20代の 17.7% …p.29
- >> 20代の半数以上が 1 人目の子育てに前向きになるのは「年収 700 万円」、前回調査からハードルが上昇 …p.30
- >> 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇 …p.31
- >> 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 800 万円」 …p.31
- >> 20代有職者の目標年収 平均 755 万円、前回調査から 50 万円の増加 …p.32
- >> 20代有職者が管理職になってもいいと思える年収 平均 949 万円、前回調査から 42 万円の増加 …p.32
- >> 「70 歳以降も働いていると思う」20代有職者の 57.5%
 働いていると思う理由 「経済的にゆとりのある生活をしたい」「健康維持のため」は前回調査から約 10 ポイント上昇 …p.33

【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】 p.34～p.36

- >> 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」17.2%
 経験した詐欺被害 TOP2 は「マルチ商法・ねずみ講」「ワンクリック詐欺」 …p.34
- >> 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」28.0% …p.34
- >> 学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”
 1位「資産形成・資産運用」2位「保険・リスク管理」3位「生活設計」4位「家計管理」5位「お金のトラブル」 …p.36

アンケート調査結果

【20代のお小遣い・貯蓄事情】

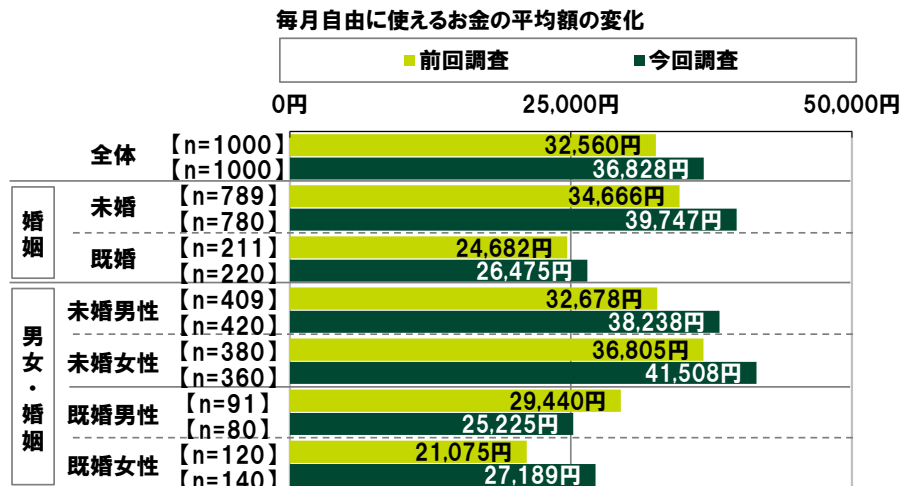
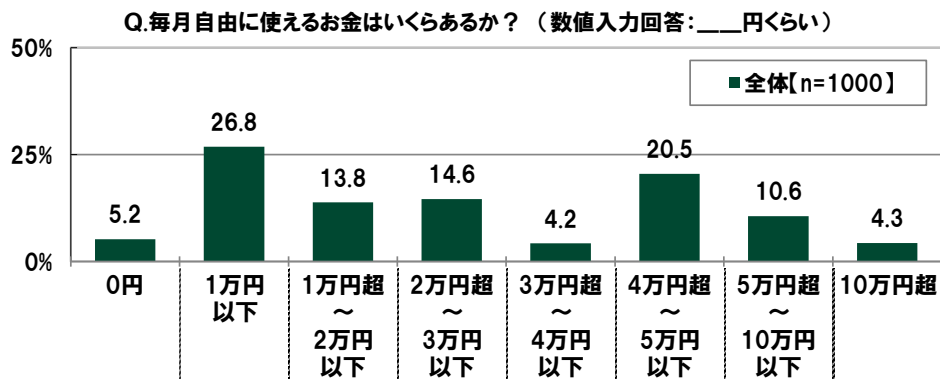
 ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 36,828 円、前回調査から 4,268 円の増加

全国の 20 歳～29 歳の男女 1,000 名(全回答者)に対し、毎月自由に使えるお金はいくらあるか聞いたところ、「1 万円以下」(26.8%)や「4 万円超～5 万円以下」(20.5%)に多くの回答が集まり、平均は 36,828 円でした。

前回の調査結果(※1)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は 4,268 円の増加(前回調査 32,560 円→今回調査 36,828 円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では 5,560 円の増加(前回調査 32,678 円→今回調査 38,238 円)、未婚女性では 4,703 円の増加(前回調査 36,805 円→今回調査 41,508 円)、既婚女性では 6,114 円の増加(前回調査 21,075 円→今回調査 27,189 円)となったのに対し、既婚男性では 4,215 円の減少(前回調査 29,440 円→今回調査 25,225 円)となりました。

※1: SMBC コンシューマーファイナンス「20 代の金銭感覚についての意識調査 2022」より



20代の貯蓄額 平均64万円、前回調査から4万円の減少

貯蓄状況について質問しました。

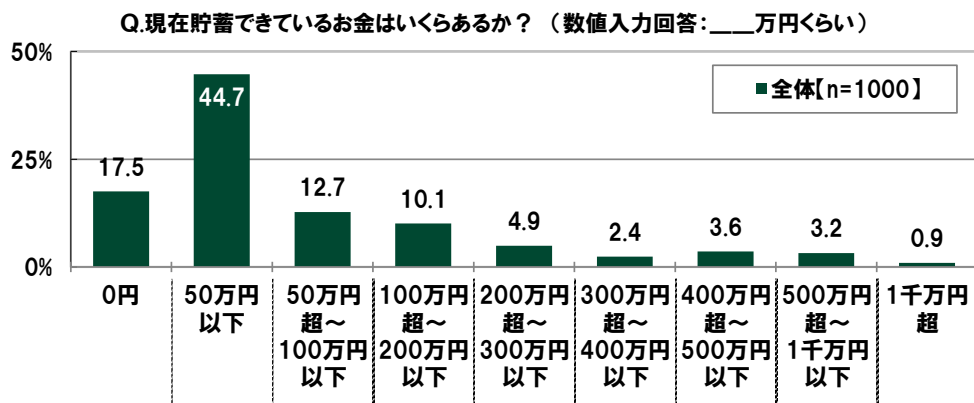
現時点で、どのくらいの貯蓄ができているか聞いたところ、「50万円以下」(44.7%)に最も多くの回答が集まったほか、「50万円超～100万円以下」(12.7%)にも回答がみられ、調整平均(※2)は64万円でした。また、「0円」は17.5%となりました。

前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均は4万円の減少(前回調査68万円→今回調査64万円)となりました。

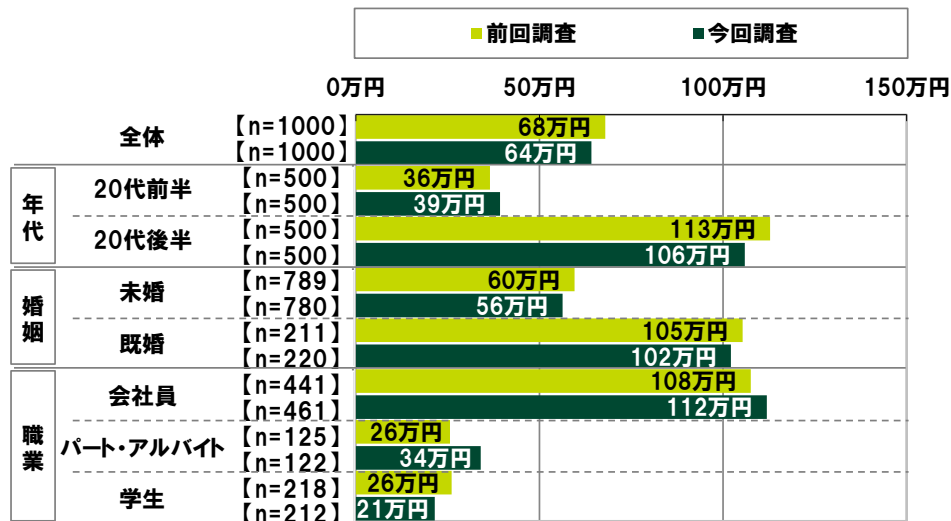
婚姻状況別にみると、未婚者では4万円の減少(前回調査60万円→今回調査56万円)、既婚者では3万円の減少(前回調査105万円→今回調査102万円)となりました。

職業別にみると、会社員では4万円の増加(前回調査108万円→今回調査112万円)、パート・アルバイトでは8万円の増加(前回調査26万円→今回調査34万円)となったのに対し、学生では5万円の減少(前回調査26万円→今回調査21万円)となりました。

※2: 当該設問では、上位数%のデータにみられた極端な値(貯蓄額が数億円など)の影響を除外するため、10%調整平均(上位と下位からそれぞれ10%のデータを除外して算出した相加平均)を利用しています。



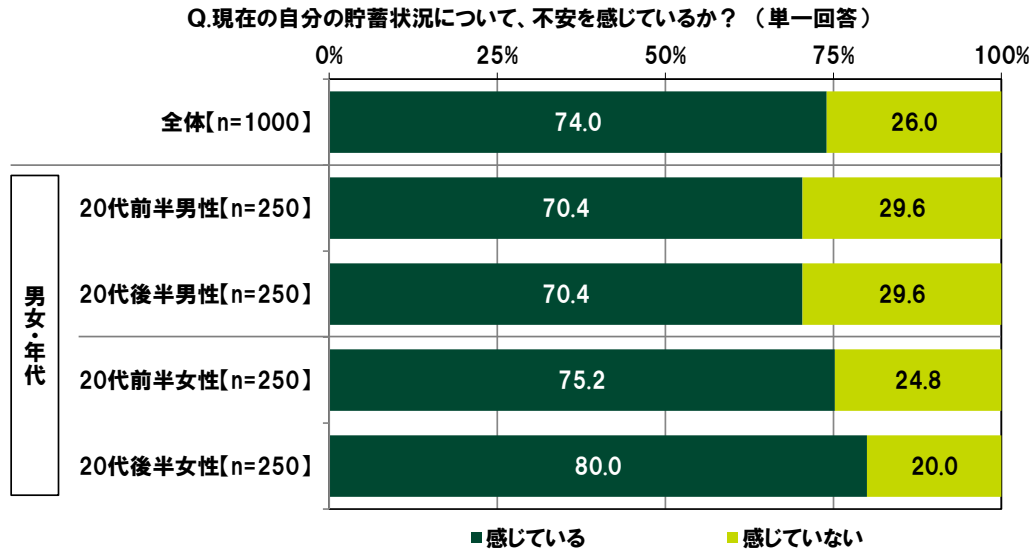
現在貯蓄できているお金の調整平均額の変化



≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」74.0%、20代後半女性では 80.0%

現在の自分の貯蓄状況について、不安を感じているか聞いたところ、「感じている」は 74.0%、「感じていない」は 26.0%となりました。長引くコロナ禍で、経済の先行きを見通すことが難しいためか、貯蓄状況に対し不安を抱いている人が多いのではないのでしょうか。

男女・年代別にみると、不安を感じている人の割合は、20代後半女性(80.0%)が特に高くなりました。



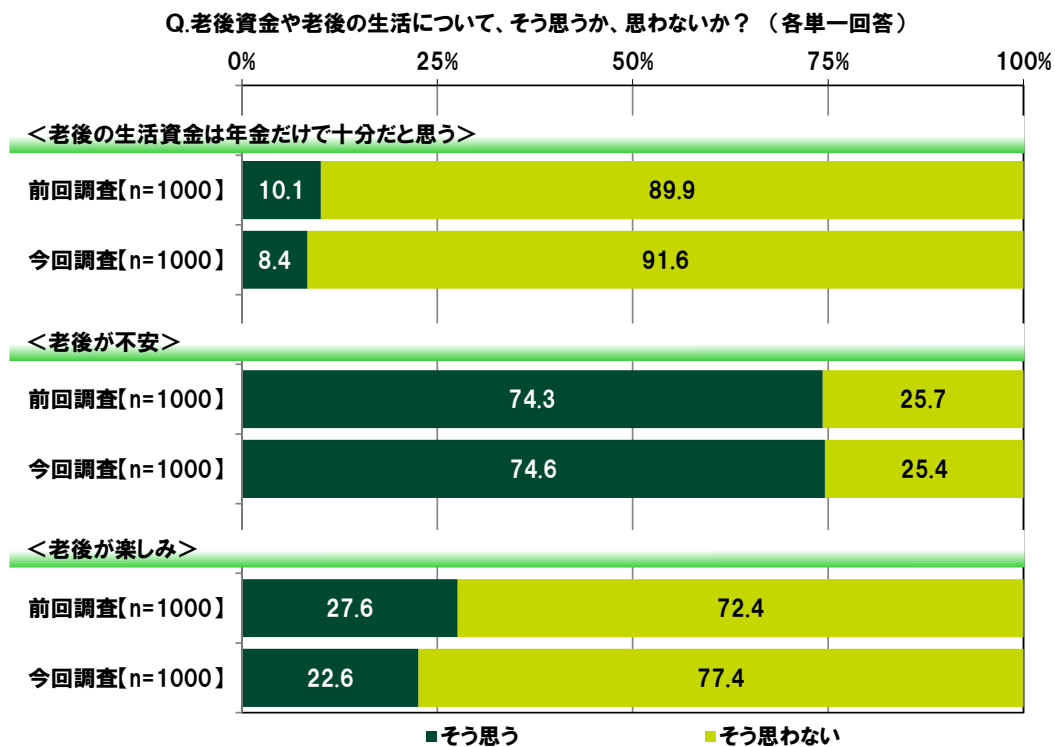
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけでは不十分」91.6%
- ≫ 「老後が楽しみ」22.6%、前回調査から 5.0 ポイントの下降

全回答者(1,000名)に、老後資金や老後の生活に対する考えについて聞きました。

老後資金についてみると、<老後の生活資金は年金だけで十分だと思う>では「そう思う」が 8.4%、「そう思わない」が 91.6%となりました。大多数の人は、年金だけでは老後の生活に必要なお金をまかなうことができないと感じているようです。

老後の生活についてみると、<老後が不安>では「そう思う」が 74.6%、<老後が楽しみ>では「そう思う」が 22.6%となりました。

前回の調査結果と比較すると、<老後が楽しみ>では「そう思う」と回答した人の割合は、前回調査 27.6%→今回調査 22.6%と 5.0 ポイントの下降となりました。



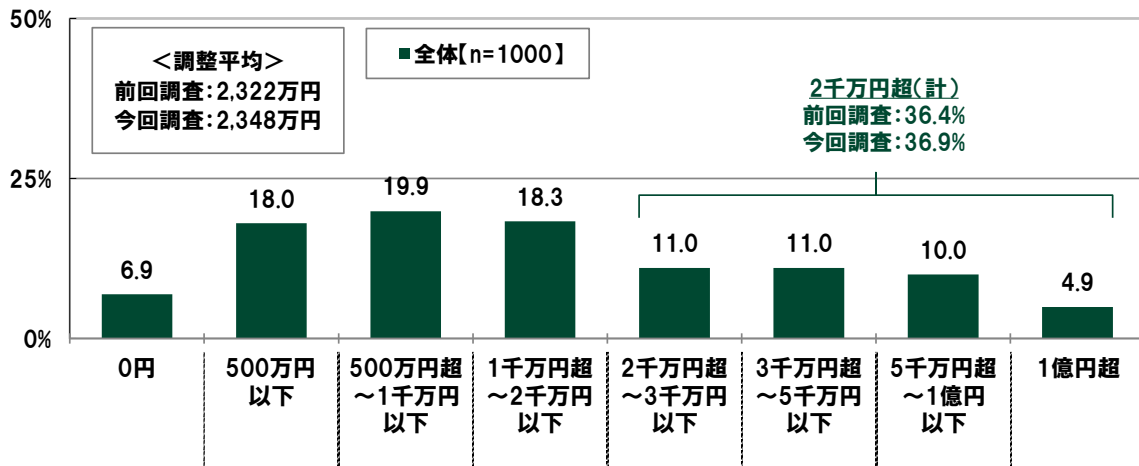
≫ 仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できる？ 平均は 2,348 万円、前回調査から 26 万円の増加

リタイア時にあれば安心できる貯蓄額のイメージについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか聞いたところ、「500万円以下」(18.0%)や「500万円超～1千万円以下」(19.9%)、「1千万円超～2千万円以下」(18.3%)に回答が集まり、調整平均は 2,348 万円でした。

前回の調査結果と比較すると、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額の調整平均は 26 万円の増加(前回調査 2,322 万円→今回調査 2,348 万円)となりました。

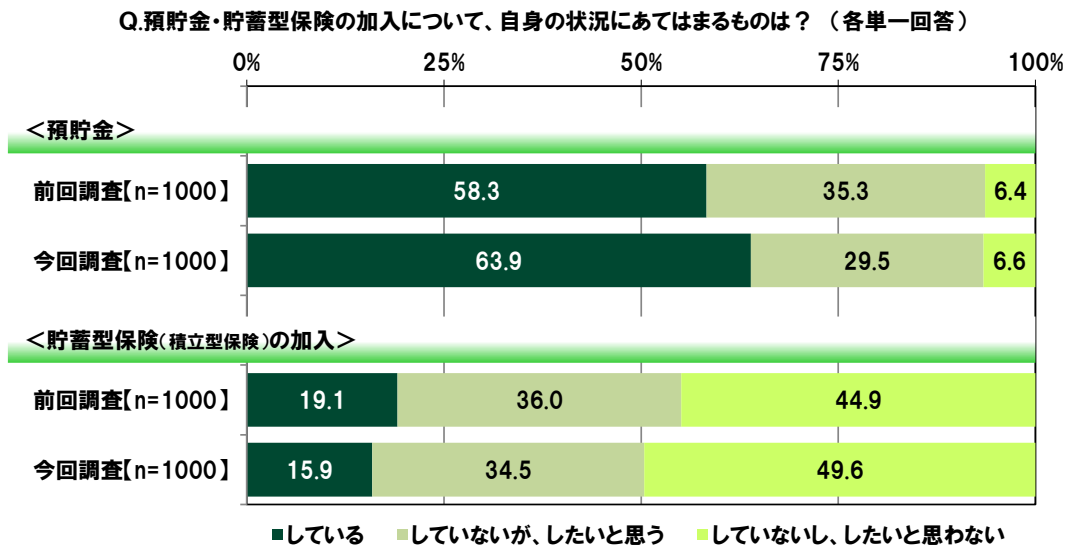
Q.仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか？
 (数値入力回答: ___万円くらい)



- ≫ 「預貯金をしている」前回調査から 5.6 ポイント上昇し 63.9%、預貯金している金額は平均 36,369 円/月
- ≫ 「貯蓄型保険に加入している」15.9%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 16,477 円/月

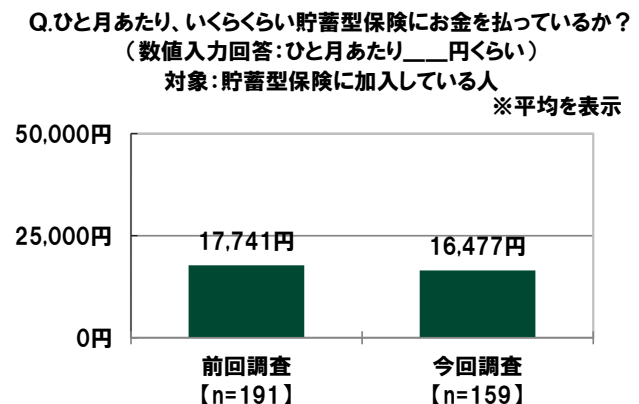
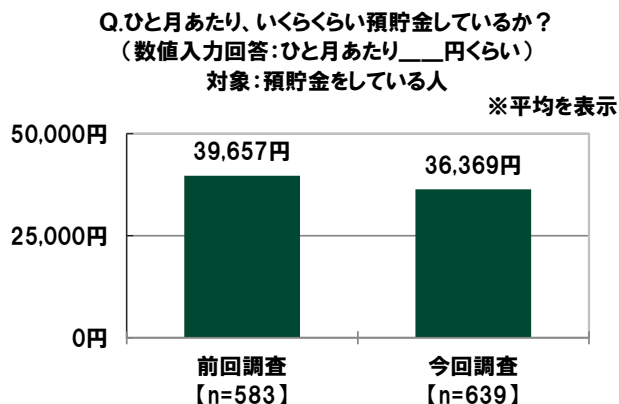
全回答者(1,000 名)に、預貯金の状況、貯蓄型保険の加入状況を聞いたところ、<預貯金>では、「している」が 63.9%、「していないが、したいと思う」が 29.5%、<貯蓄型保険(積立型保険)の加入>では「している」が 15.9%、「していないが、したいと思う」が 34.5%となりました。

前回の調査結果と比較すると、預貯金をしている人の割合は 5.6 ポイントの上昇(前回調査 58.3%→今回調査 63.9%)、貯蓄型保険にお金を払っている人の割合は 3.2 ポイントの下降(前回調査 19.1%→今回調査 15.9%)となりました。



預貯金をしている人(639 名)に、ひと月あたり、いくらくらい預貯金しているか聞いたところ、平均は 36,369 円でした。また、貯蓄型保険に加入している人(159 名)に、ひと月あたり、いくらくらい貯蓄型保険にお金を払っているか聞いたところ、平均は 16,477 円でした。

前回の調査結果と比較すると、預貯金している金額の平均は 3,288 円の減少(前回調査 39,657 円→今回調査 36,369 円)、貯蓄型保険に払っている金額の平均は 1,264 円の減少(前回調査 17,741 円→今回調査 16,477 円)と、どちらも減少する結果となりました。



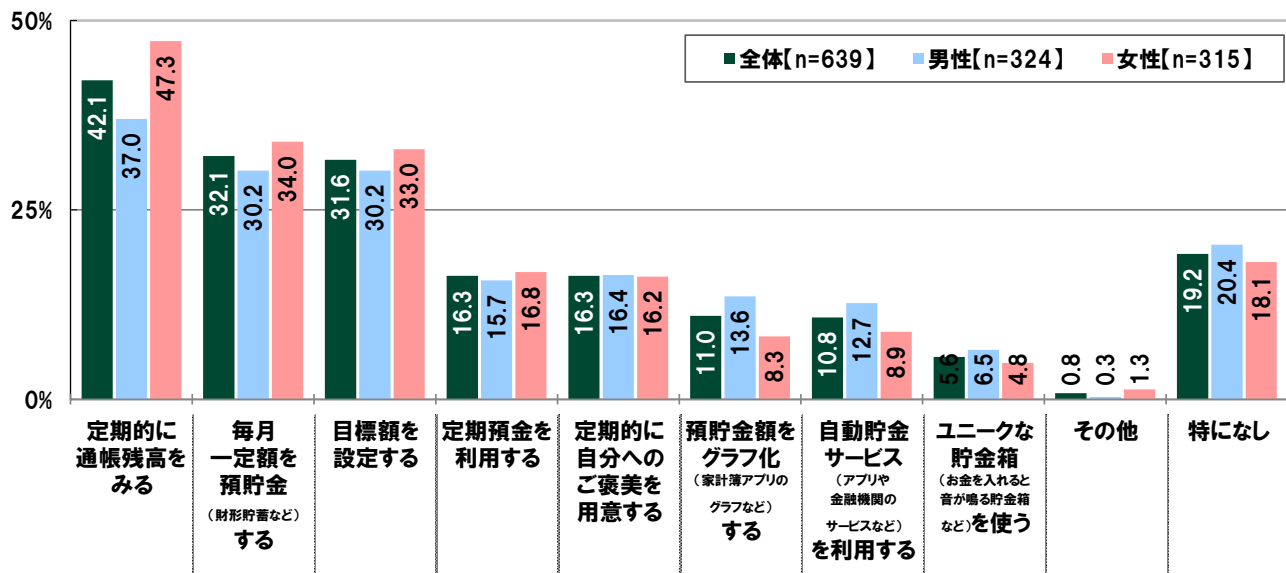
≫ 預貯金を続けるために行っている工夫

1位「定期的に通帳残高をみる」2位「毎月一定額を預貯金する」3位「目標額を設定する」

預貯金をしている人(639名)に、預貯金を続けるために行っている工夫を聞いたところ、「定期的に通帳残高をみる」(42.1%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「毎月一定額を預貯金(財形貯蓄など)する」(32.1%)、「目標額を設定する」(31.6%)、「定期預金を利用する」「定期的に自分へのご褒美を用意する」(いずれも16.3%)でした。

男女別にみると、女性では「定期的に通帳残高をみる」が47.3%と、男性(37.0%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

Q.預貯金を続けるために行っている工夫は？(複数回答)
 対象:預貯金をしている人



【20代の消費意識と消費実態】

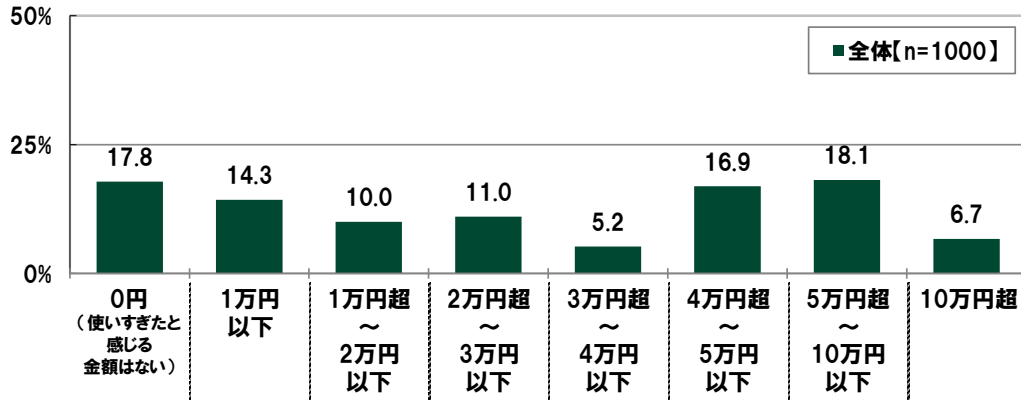
≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額 平均 43,257 円/月、前回調査から 3,349 円の増加

全回答者(1,000名)に、自分が自由に使えるお金(お小遣い)を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか聞いたところ、「0円(使いすぎたと感じる金額はない)」(17.8%)や「4万円超～5万円以下」(16.9%)、「5万円超～10万円以下」(18.1%)などに回答が集まり、平均は43,257円でした。

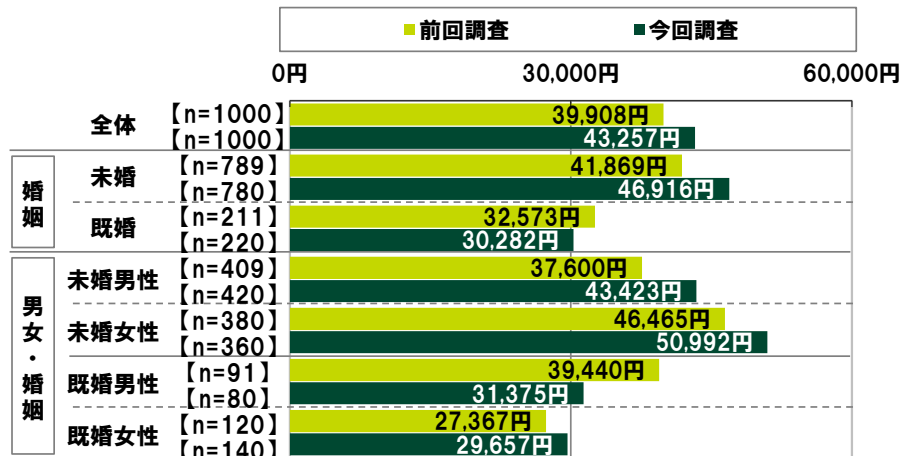
前回の調査結果と比較すると、使いすぎたと感じる金額の平均は3,349円の増加(前回調査39,908円→今回調査43,257円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では5,823円の増加(前回調査37,600円→今回調査43,423円)、未婚女性では4,527円の増加(前回調査46,465円→今回調査50,992円)、既婚女性では2,290円の増加(前回調査27,367円→今回調査29,657円)となったのに対し、既婚男性では8,065円の減少(前回調査39,440円→今回調査31,375円)となりました。

Q.自分が自由に使えるお金を、1ヶ月間でいくらか使ったときにお金を使いすぎたと感じるか？
(数値入力回答:1ヶ月間で___円くらい)



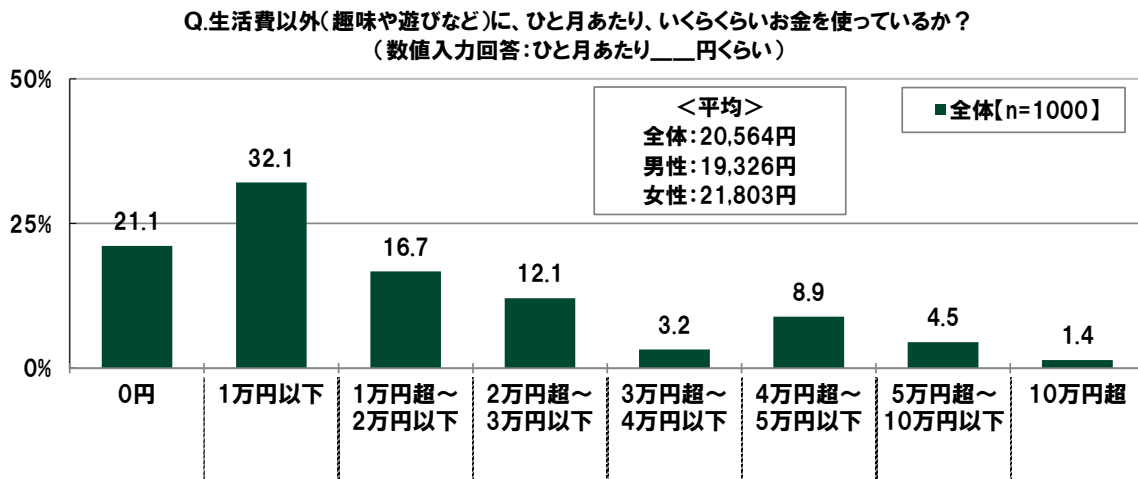
自分が自由に使えるお金を1ヶ月間に使ったときに使いすぎたと感じる金額の平均の変化



- ≫ 趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額 平均 20,564 円/月
- ≫ 今年、お金を使ったもの・ことのうち、一度の支払い額が最も高額だったもの 1位「旅行・レジャー」2位「車」3位「服」
 支払い額の平均は「旅行・レジャー」134,260 円、「車」2,414,789 円、「服」39,333 円

全回答者(1,000名)に、生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか聞いたところ、「1万円以下」(32.1%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(16.7%)や「2万円超～3万円以下」(12.1%)にも回答がみられ、平均は20,564円でした。また、「0円」は21.1%となりました。

男女別にみると、生活費以外に使っている金額の平均は、女性では21,803円と、男性(19,326円)と比べて2,477円高くなりました。



では、今年、どのようなものにお金をかけたのでしょうか。

今年、お金を使ったもの・ことの中から、一度の支払い額が最も高額だったものを聞いたところ、1位「旅行・レジャー」(73名)、2位「車」(71名)、3位「服」(63名)、4位「エステ・美容(脱毛含む)」(46名)、5位「パソコン」(32名)となりました。

支払い額の平均をみると、「旅行・レジャー」は134,260円、「車」は2,414,789円、「服」は39,333円、「エステ・美容(脱毛含む)」は300,548円、「パソコン」は188,125円でした。

Q.今年、お金を使ったもの・ことの中から、一度の支払い額が最も高額だったものは? (自由回答)

※上位10位までを表示

順位	全体[n=1000]	名	平均(円)
1位	旅行・レジャー	73	134,260円
2位	車	71	2,414,789円
3位	服	63	39,333円
4位	エステ・美容(脱毛含む)	46	300,548円
5位	パソコン	32	188,125円
6位	ゲーム	27	24,993円
7位	携帯電話・スマートフォン	26	109,719円
8位	鞆	23	125,565円
	財布	23	64,261円
10位	アクセサリ	22	201,591円

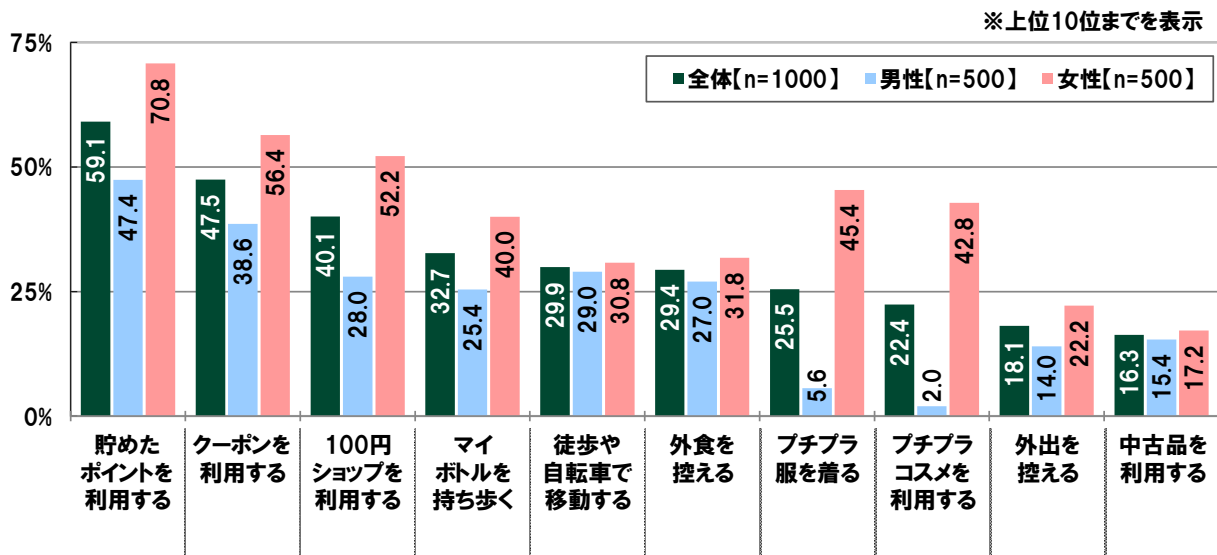
≫ 節約のためにやっていること 1位「貯めたポイントを利用」2位「クーポンを利用」3位「100円ショップを利用」

支出を抑えるため、どのような節約術に取り組んでいる人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、節約のためにやっていることを聞いたところ、「貯めたポイントを利用する」(59.1%)が最も高くなりました。ポイ活で貯まったポイントを支払いに充てる人が多いようです。次いで高くなったのは、「クーポンを利用する」(47.5%)、「100円ショップを利用する」(40.1%)、「マイボトルを持ち歩く」(32.7%)、「徒歩や自転車で移動する」(29.9%)でした。

男女別にみると、女性では「プチプラ服を着る」が45.4%、「プチプラコスメを利用する」が42.8%と、男性(順に5.6%、2.0%)と比べて約40ポイント高くなりました。

Q.節約のためにやっていることは？(複数回答)



≫ 「後払い決済サービスを利用したことがある」20代の3人に1人

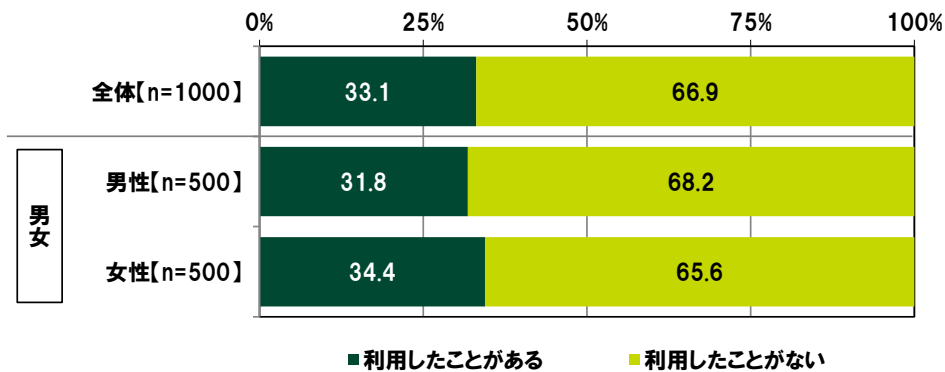
後払い決済サービスで購入したもの 1位「ファッション用品」2位「化粧品」3位「日用品」

続いて、後払い決済サービスについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、後払い決済サービス(BNPLサービス)を利用したことがあるか聞いたところ、「利用したことがある」は33.1%、「利用したことがない」は66.9%となりました。

男女別にみると、後払い決済サービスを利用したことがある人の割合は、女性では34.4%と、男性(31.8%)と比べて2.6ポイント高くなりました。

Q.後払い決済サービス(BNPLサービス)を利用したことがあるか？



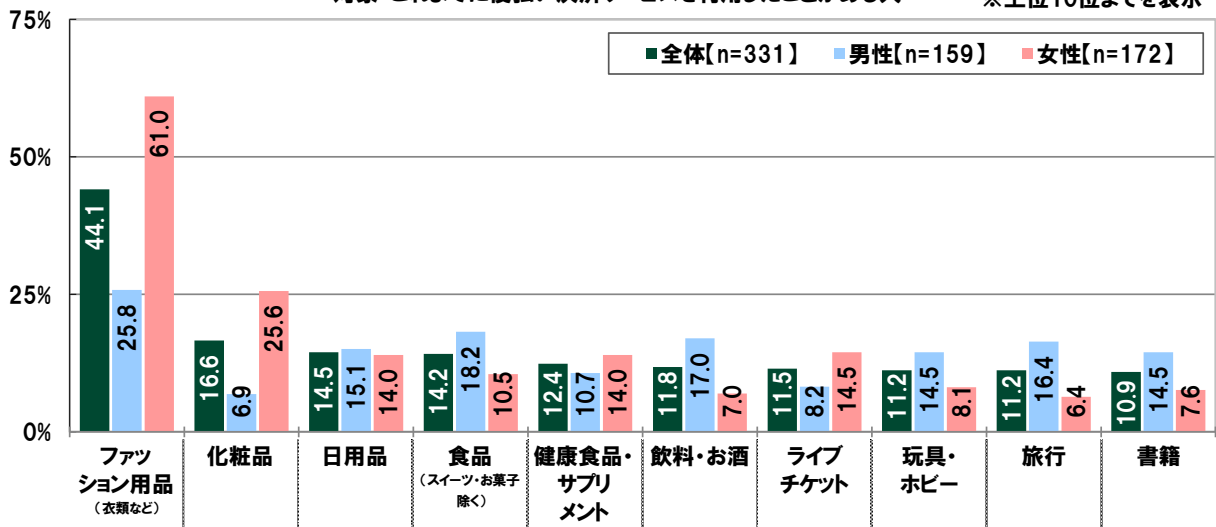
これまでに後払い決済サービスを利用したことがある人(331名)に、後払い決済サービスで購入したものを聞いたところ、「ファッション用品(衣類など)」(44.1%)が突出して高くなりました。ECサイトなどで洋服や雑貨を購入した際、後払い決済サービスを利用した人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「化粧品」(16.6%)、「日用品」(14.5%)、「食品(スイーツ・お菓子除く)」(14.2%)、「健康食品・サプリメント」(12.4%)でした。

男女別にみると、女性では「ファッション用品(衣類など)」が61.0%と、男性(25.8%)と比べて35.2ポイント高くなりました。

Q.後払い決済サービスで購入したものは？(複数回答)

対象:これまでに後払い決済サービスを利用したことがある人

※上位10位までを表示



≫ ゲーム課金に対する意識

「お金を使ってでもゲームを有利に進めたい」13.6%、「お金を使わないと楽しく遊べない」20.3%

「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」16.1%

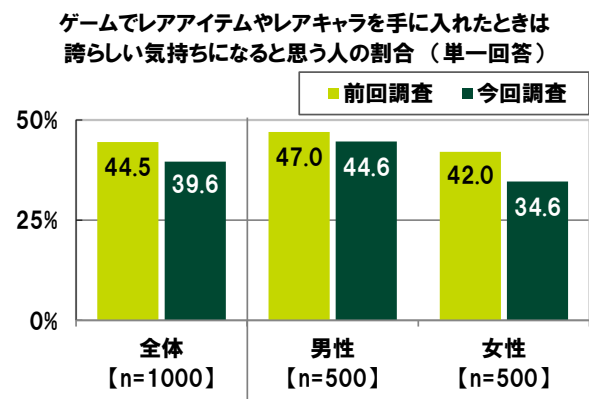
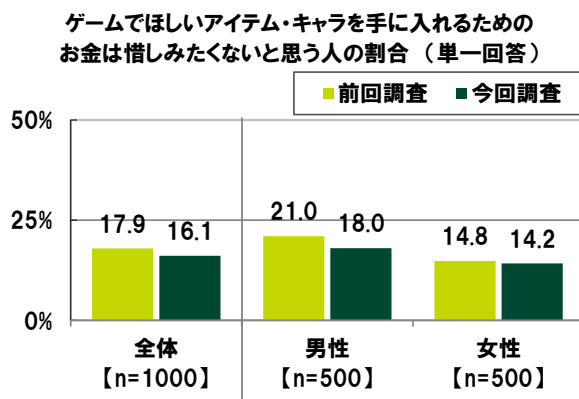
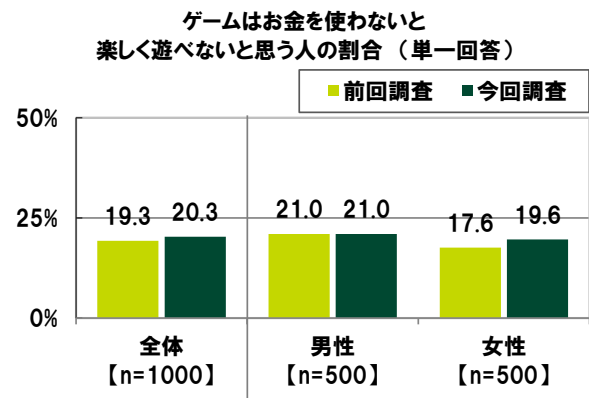
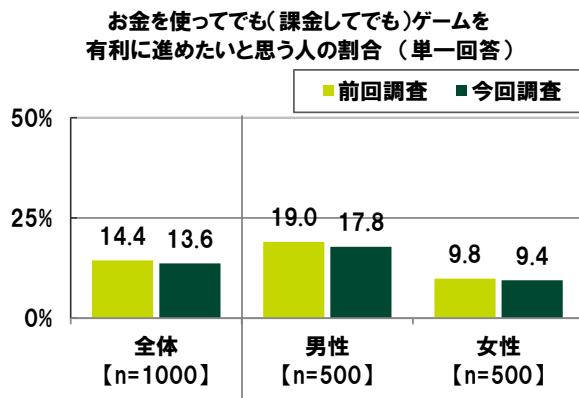
≫ 「ゲームでレアアイテム・キャラを入手すると誇らしい気持ちになる」39.6%、女性では前回調査から 7.4 ポイントの下降

全回答者(1,000名)に、ゲーム消費について質問しました。

まず、お金を使ってゲームをすることについて聞いたところ、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>では「そう思う」は 13.6%、<お金を使わないと楽しく遊べない>では「そう思う」は 20.3%となりました。

アイテムやキャラクターの入手について聞いたところ、<ほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくない>では「そう思う」は 16.1%、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>では「そう思う」は 39.6%となりました。

前回の調査結果と比較すると、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>で「そう思う」と回答した人の割合は、女性では 7.4 ポイントの下降(前回調査 42.0%→今回調査 34.6%)となりました。



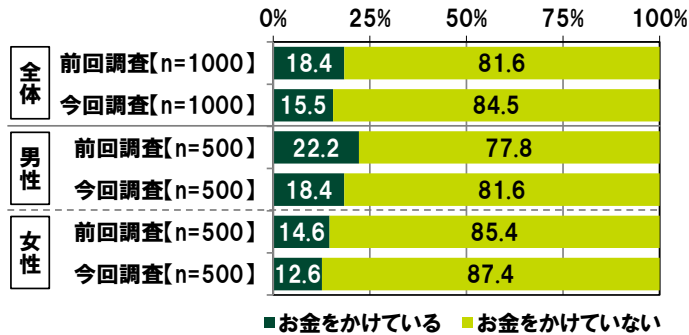
- ≫ 「ゲーム課金をしている」15.5%、かけている金額は前回調査から 834 円増加し平均 5,638 円/月
- ≫ 「ゲーム課金に後悔したことがある」23.6%、男性では 29.2%

次に、ゲーム課金(ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用)の実態について質問しました。

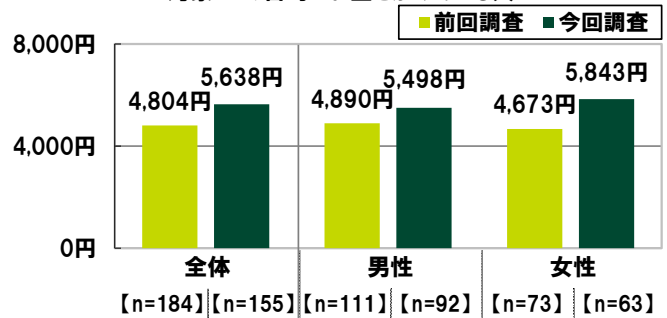
〈ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)〉にお金をかけている人の割合は 15.5%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 5,638 円でした。

前回の調査結果と比較すると、お金をかけている人の割合は 2.9 ポイントの下降(前回調査 18.4%→今回調査 15.5%)となりました。また、かけている金額の平均は、全体では 834 円の増加(前回調査 4,804 円→今回調査 5,638 円)となり、男女別では男性が 608 円の増加(前回調査 4,890 円→今回調査 5,498 円)、女性が 1,170 円の増加(前回調査 4,673 円→今回調査 5,843 円)となりました。お金をかけている人は減っている一方で、実際にお金をかけている人のゲーム消費額が増えている実態が明らかとなりました。

Q.ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にお金をかけているか?



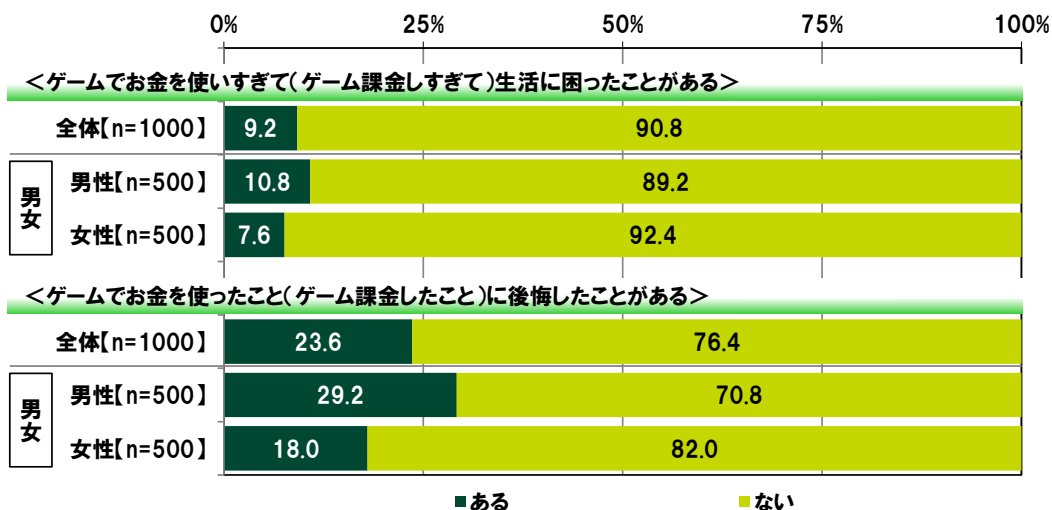
ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にかけている金額の平均 (数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



また、ゲーム課金での経験を聞いたところ、〈ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある〉では「ある」は 9.2%、〈ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある〉では「ある」は 23.6%となりました。

男女別にみると、〈ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある〉で「ある」と回答した人の割合は、男性では 29.2%と、女性(18.0%)と比べて 10 ポイント以上高くなりました。

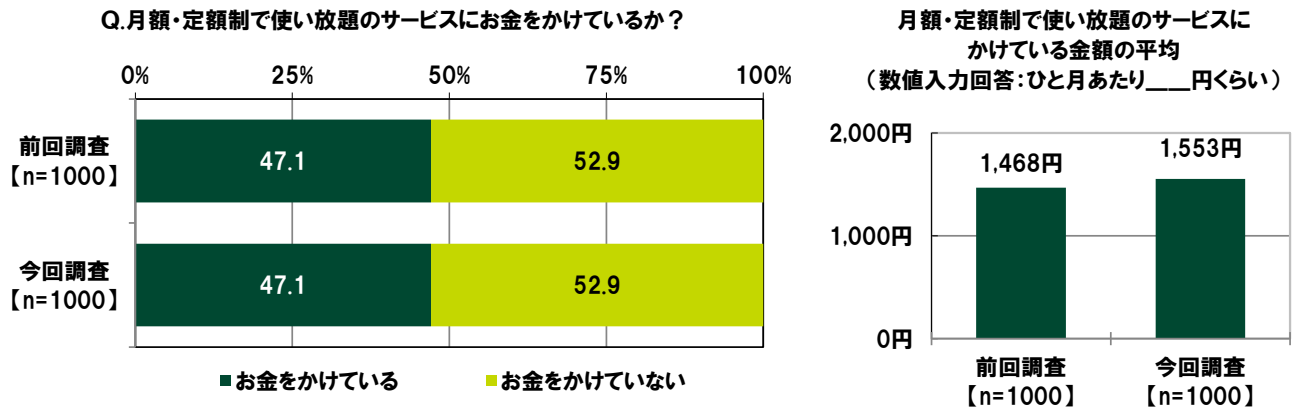
Q.ゲーム課金に関する以下の経験があるか、ないか? (各単一回答)



≫ サブスクサービスにかけている金額の全体平均は 1,553 円/月、前回調査から 85 円の増加

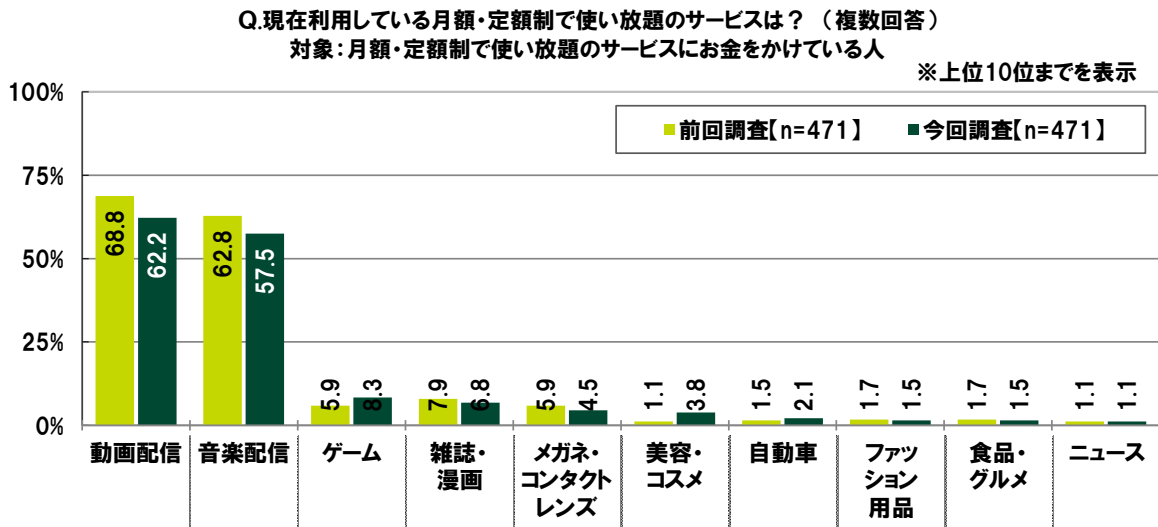
全回答者(1,000名)に、モノを持たない消費の一つであるサブスクリプションサービスについて質問しました。まず、月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は47.1%で、ひと月あたりにかけている金額の全体平均は 1,553 円でした。

前回の調査結果と比較すると、かけている金額の全体平均は 85 円の増加(前回調査 1,468 円→今回調査 1,553 円)となりました。



月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人(471名)に、現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(62.2%)と「音楽配信」(57.5%)が突出して高くなりました。次いで高くなったのは、「ゲーム」(8.3%)、「雑誌・漫画」(6.8%)、「メガネ・コンタクトレンズ」(4.5%)でした。

前回の調査結果と比較すると、「動画配信」は 6.6 ポイントの下降(前回調査 68.8%→今回調査 62.2%)、「音楽配信」は 5.3 ポイントの下降(前回調査 62.8%→今回調査 57.5%)となりました。

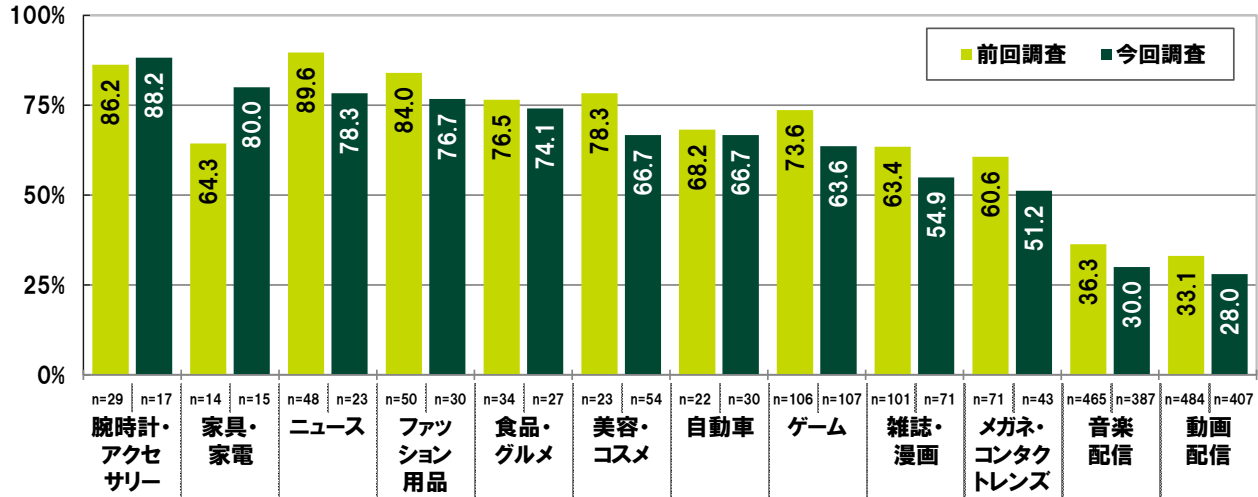


*前回調査での選択肢は、今回調査と同じ表記にするため、下記のように統合・名称変更
 「メガネ」「コンタクトレンズ」⇒「メガネ・コンタクトレンズ」 / 「シャンプー・フローヘアケア(理容室・美容室で)」⇒「美容・コスメ」
 「普段着」「スーツ」「バッグ」⇒「ファッション用品」 / 「食品宅配」「ビール」「外食(月額制食べ放題など)」⇒「食品・グルメ」

利用経験があるサービスのうち、すでに解約している割合が高いのはどのサービスなのでしょうか。

これまでに利用したことがある月額・定額制で使い放題のサービスに関して、現在は解約している割合を算出したところ、「ファッション用品」(76.7%)、「美容・コスメ」「自動車」(いずれも 66.7%)、「ゲーム」(63.6%)、「雑誌・漫画」(54.9%)、「メガネ・コンタクトレンズ」(51.2%)では半数を超えたのに対し、「音楽配信」(30.0%)と「動画配信」(28.0%)では約 3 割にとどまりました。

利用したことがある月額・定額制で使い放題のサービスのうち、現在は解約しているもの（複数回答結果より算出）
ベース：月額・定額制で使い放題のサービスの各利用経験者



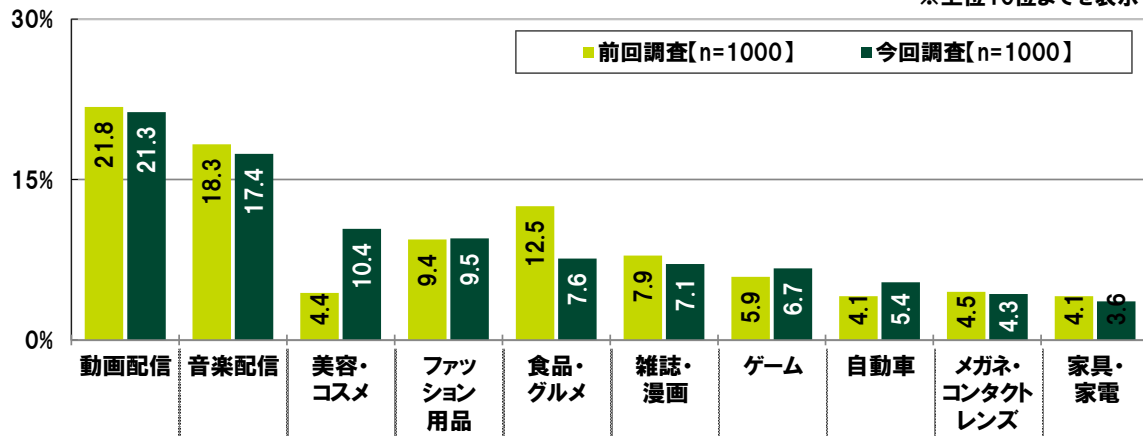
*前回調査での選択肢は、今回調査と同じ表記にするため、下記のように統合・名称変更
 「アクセサリ」「腕時計」⇒「腕時計・アクセサリ」 / 「家電製品」「家具」⇒「家具・家電」 / 「普段着」「スーツ」「バッグ」⇒「ファッション用品」
 「食品宅配」「ビール」「外食(月額制食べ放題など)」⇒「食品・グルメ」 / 「シャンプー・フロー・ヘアケア(理容室・美容室で)」⇒「美容・コスメ」
 「メガネ」「コンタクトレンズ」⇒「メガネ・コンタクトレンズ」 ※n数が30未満のものは参考値

また、全回答者(1,000名)に、利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(21.3%)が最も高くなり、「音楽配信」(17.4%)、「美容・コスメ」(10.4%)、「ファッション用品」(9.5%)、「食品・グルメ」(7.6%)が続きました。

前回の調査結果と比較すると、「美容・コスメ」は 6.0 ポイントの上昇(前回調査 4.4%→今回調査 10.4%)となりました。

Q.利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスは？（複数回答）

※上位10位までを表示



*前回調査での選択肢は、今回調査と同じ表記にするため、下記のように統合・名称変更
 「シャンプー・フロー・ヘアケア(理容室・美容室で)」⇒「美容・コスメ」
 「普段着」「スーツ」「バッグ」⇒「ファッション用品」 / 「食品宅配」「ビール」「外食(月額制食べ放題など)」⇒「食品・グルメ」
 「メガネ」「コンタクトレンズ」⇒「メガネ・コンタクトレンズ」 / 「家電製品」「家具」⇒「家具・家電」

≫ 「現在、投資をしている」26.7%

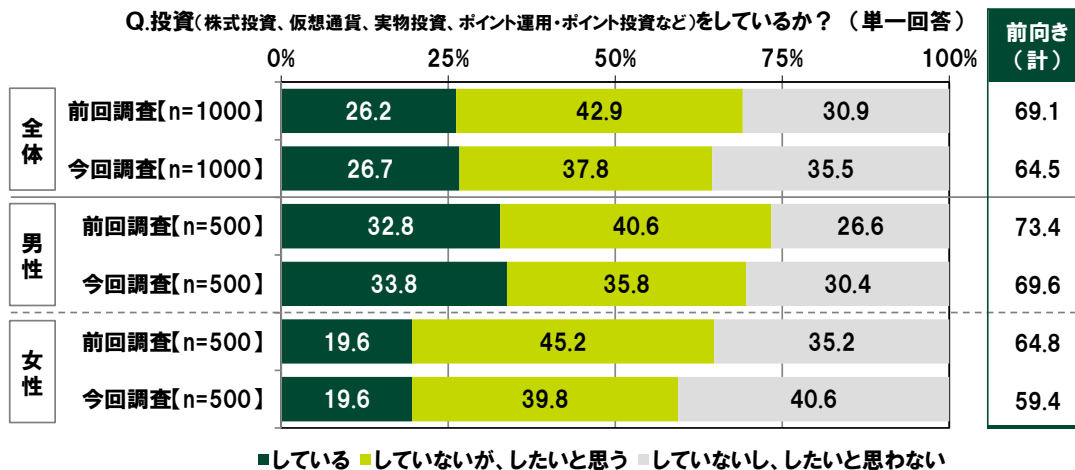
ひと月あたりに投資に回している金額は平均 26,005 円、前回調査から 13,599 円の大幅減少

投資（株式投資、仮想通貨、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など）について質問しました。

全回答者（1,000 名）に、投資をしているか聞いたところ、「している」は 26.7%、「していないが、したいと思う」は 37.8%で、合計した『前向き（計）』は 64.5%となりました。

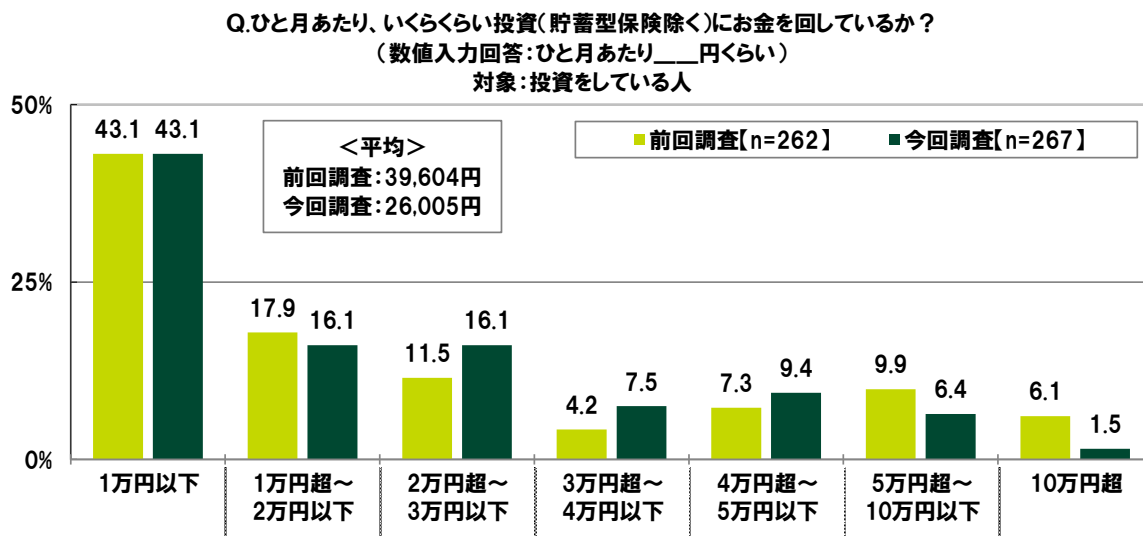
投資をしている人の割合は、男性では 33.8%と、女性（19.6%）と比べて 14.2 ポイント高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、投資に前向きな人の割合は、全体では 4.6 ポイントの下降（前回調査 69.1%→今回調査 64.5%）、男性では 3.8 ポイントの下降（前回調査 73.4%→今回調査 69.6%）、女性では 5.4 ポイントの下降（前回調査 64.8%→今回調査 59.4%）となりました。

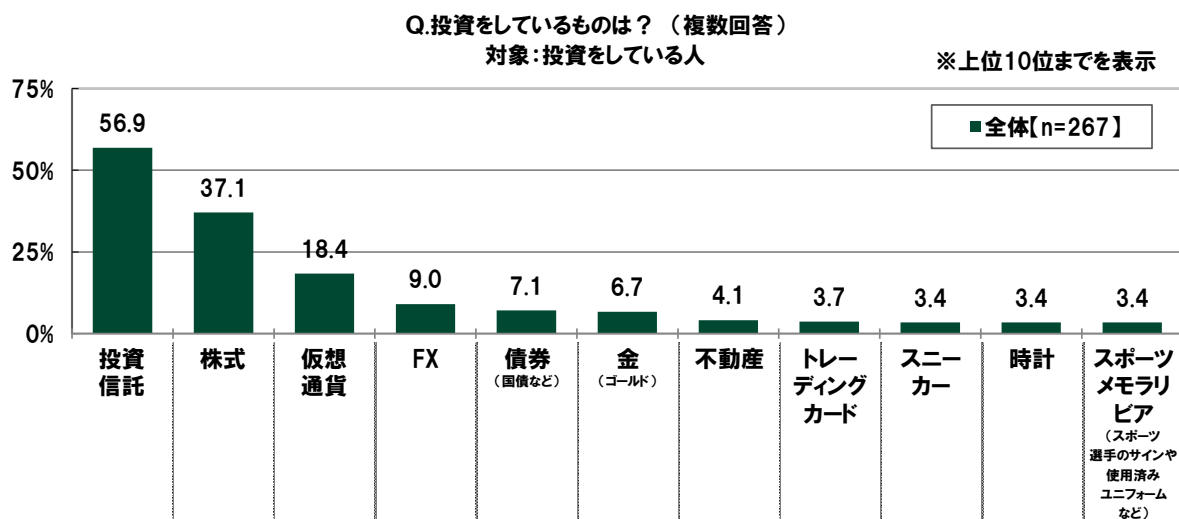


投資をしている人（267 名）に、ひと月あたり、いくらくらい投資（貯蓄型保険除く）にお金を回しているか聞いたところ、「1 万円以下」（43.1%）に最も多くの回答が集まったほか、「1 万円超～2 万円以下」と「2 万円超～3 万円以下」（いずれも 16.1%）にも回答がみられ、平均は 26,005 円でした。

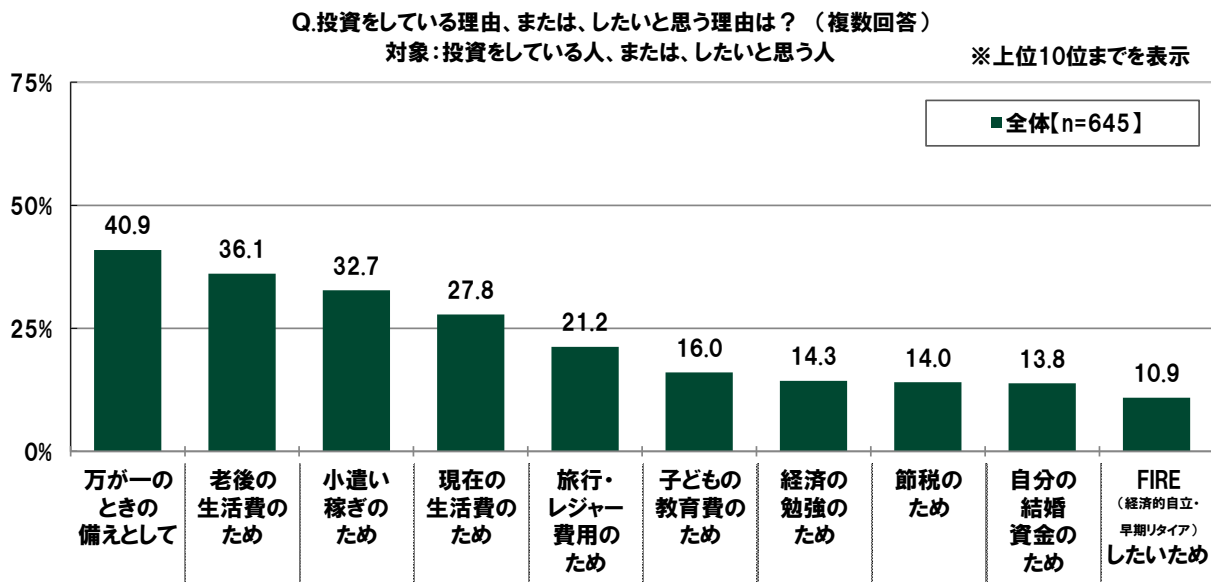
前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりに投資に回している金額の平均は、13,599 円の大幅減少（前回調査 39,604 円→今回調査 26,005 円）となりました。



また、投資をしているものを聞いたところ、「投資信託」(56.9%)が最も高くなり、「株式」(37.1%)、「仮想通貨」(18.4%)、「FX」(9.0%)、「債券(国債など)」(7.1%)が続きました。



投資をしている人、または、投資をしたいと思います人(645名)に、投資をしている理由、または、したいと思う理由を聞いたところ、「万が一のときの備えとして」(40.9%)が最も高くなり、「老後の生活費のため」(36.1%)、「小遣い稼ぎのため」(32.7%)、「現在の生活費のため」(27.8%)、「旅行・レジャー費用のため」(21.2%)が続きました。



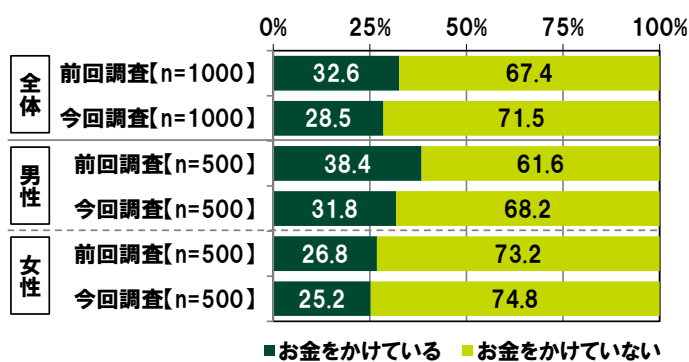
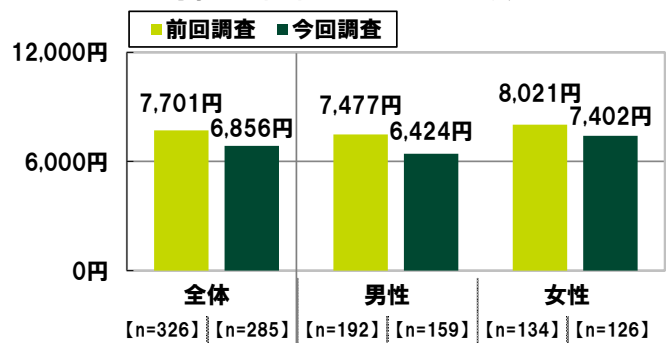
- ≫ 「自己投資にお金をかけている」28.5%、かけているお金は平均 6,856 円/月
- ≫ 「自分磨きにお金をかけている」65.9%、かけているお金は平均 9,162 円/月

全回答者(1,000名)に、自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)や自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)への支出状況について聞きました。

自己投資にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 28.5%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 6,856 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、女性では 7,402 円と、男性(6,424 円)比べて 978 円高くなりました。

Q.自己投資のためにお金をかけているか？

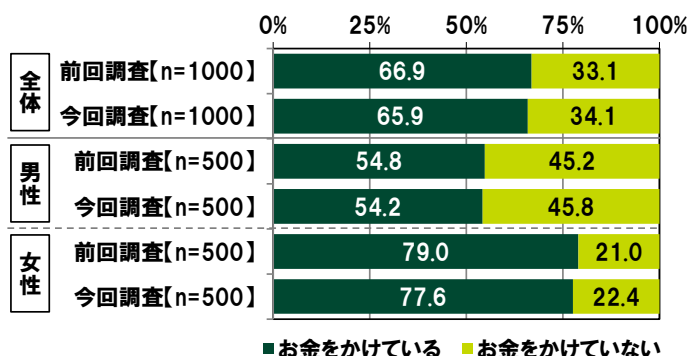
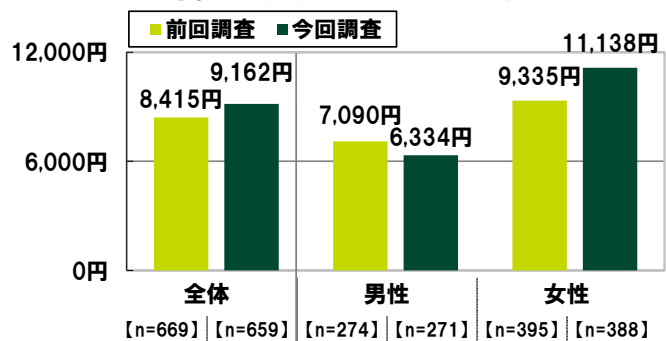

 自己投資にかけている金額の平均
 (数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
 対象:この目的にお金をかけている人


自分磨きにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 65.9%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 9,162 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、女性では 11,138 円と、男性(6,334 円)と比べて 4,804 円高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、全体では 747 円の増加(前回調査 8,415 円→今回調査 9,162 円)となりました。男女別にみると、男性では 756 円の減少(前回調査 7,090 円→今回調査 6,334 円)となったのに対し、女性では 1,803 円の増加(前回調査 9,335 円→今回調査 11,138 円)と、男女で対照的な結果となりました。

Q.自分磨きのためにお金をかけているか？

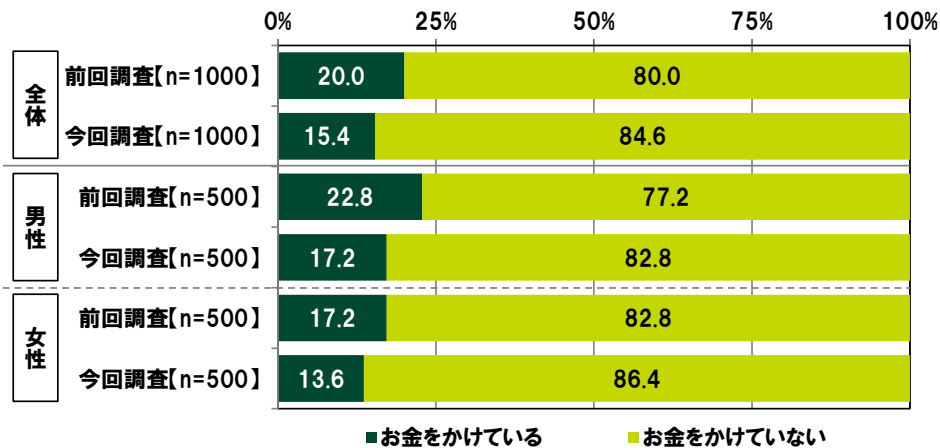

 自分磨きにかけている金額の平均
 (数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
 対象:この目的にお金をかけている人


- ≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」15.4%
 かけているお金は平均 4,004 円/月、前回調査から 311 円の増加
- ≫ 社会のためになる商品・サービスにかけているお金 女性では平均 4,763 円/月、男性と比べて 1,359 円高い結果に

全回答者(1,000名)に、社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 15.4%となりました。

男女別にみると、お金をかけている人の割合は、男性では 17.2%、女性では 13.6%となりました。

Q.社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？

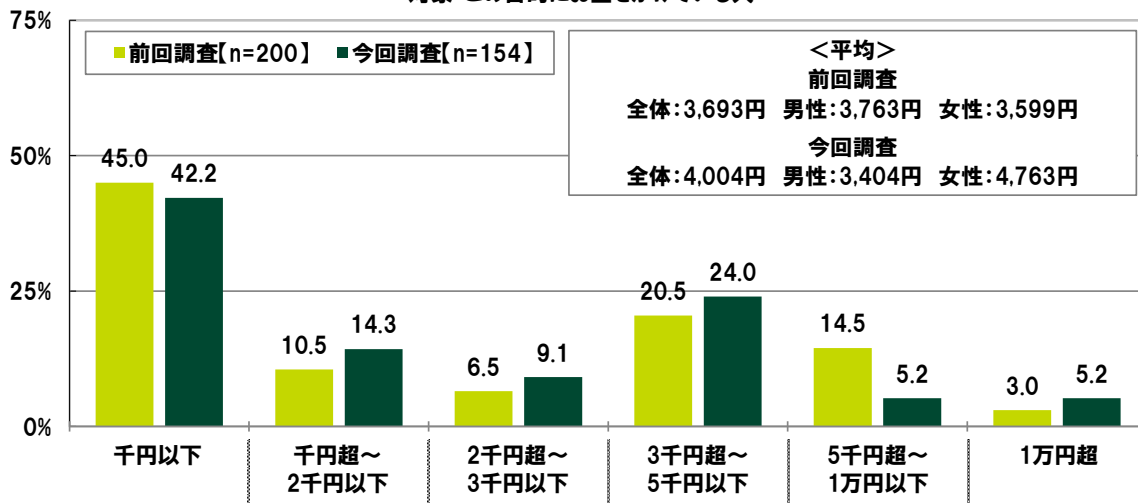


お金をかけている人(154名)に、ひと月あたり、いくらくらいお金をかけているか聞いたところ、「千円以下」(42.2%)に最も多くの回答が集まったほか、「3千円超～5千円以下」(24.0%)にも回答がみられ、平均は 4,004 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、女性では 4,763 円と、男性(3,404 円)と比べて 1,359 円高くなりました。

前回の調査結果と比較すると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、311 円の増加(前回調査 3,693 円→今回調査 4,004 円)となりました。

Q.ひと月あたり、いくらくらい社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？ (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人

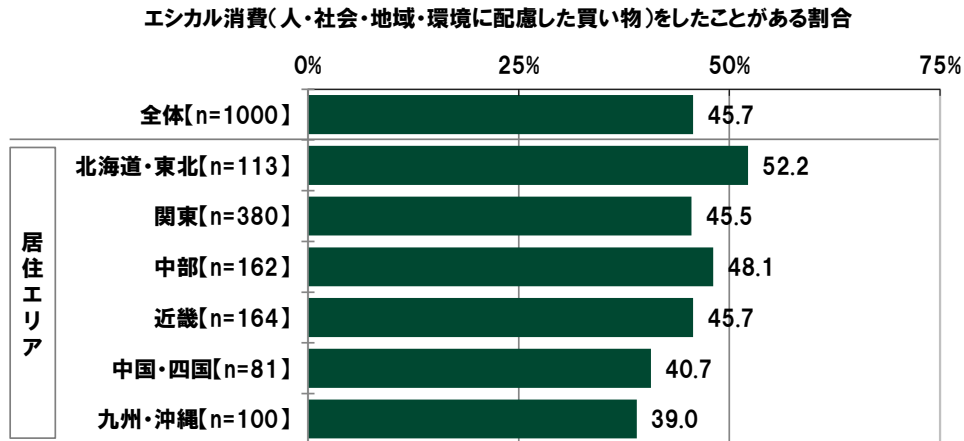


- ≫ 「エシカル消費をしたことがある」45.7%、北海道・東北エリアでは 52.2%
- ≫ エシカル消費として積極的に買いたいもの 1位「地産地消になる商品」2位「省エネ商品」

エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)について質問しました。

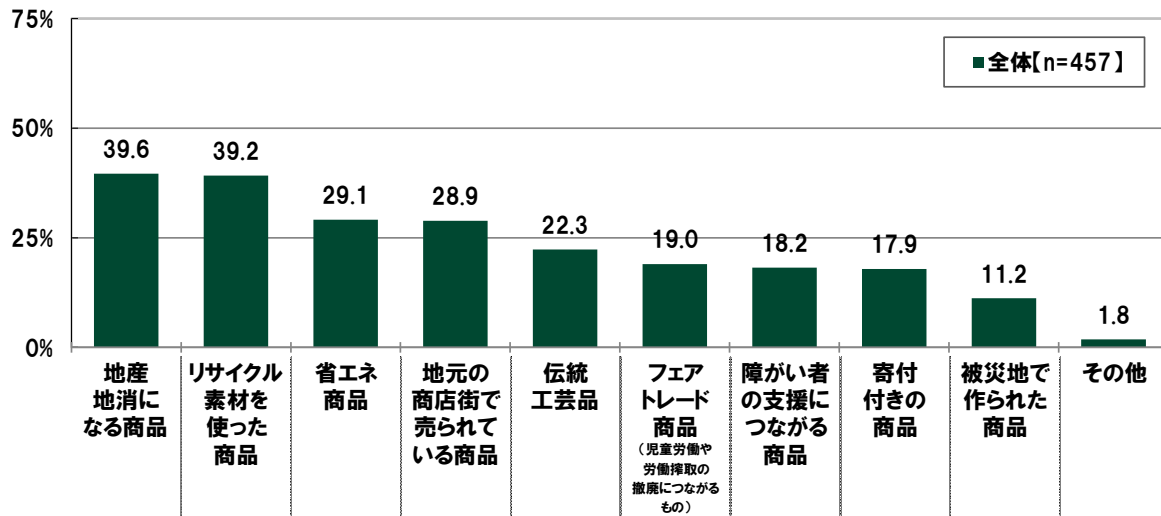
全回答者(1,000名)に、エシカル消費の経験を聞いたところ、エシカル消費をしたことがある人の割合は45.7%でした。

エシカル消費をしたことがある人の割合を居住エリア別にみると、北海道・東北(52.2%)が最も高くなりました。



エシカル消費をしたことがある人(457名)に、エシカル消費として買ったことがあるものを聞いたところ、「地産地消になる商品」(39.6%)と「リサイクル素材を使った商品」(39.2%)が特に高くなり、「省エネ商品」(29.1%)、「地元の商店街で売られている商品」(28.9%)、「伝統工芸品」(22.3%)が続きました。

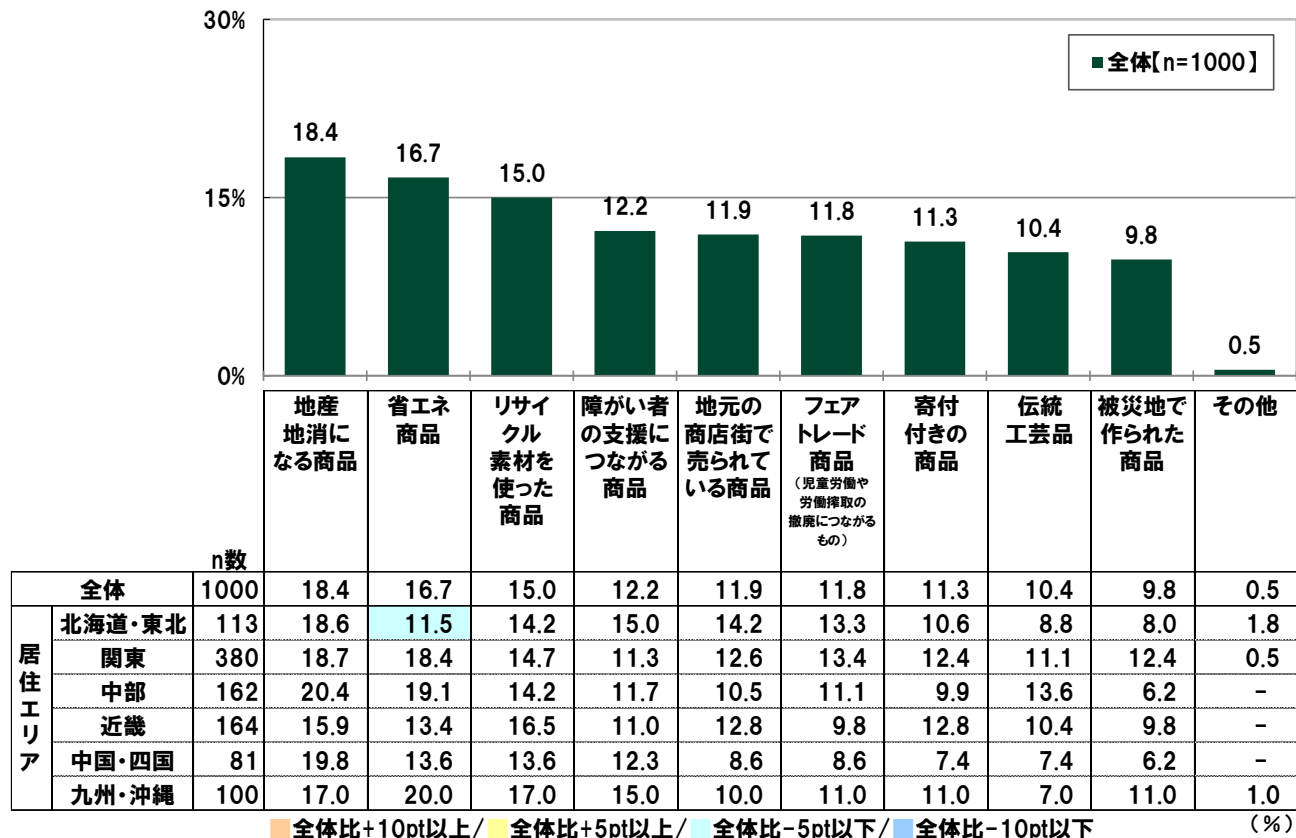
Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として買ったことがあるものは？(複数回答)
対象:エシカル消費をしたことがある人



また、全回答者(1,000名)に、エシカル消費として積極的に買いたいものを聞いたところ、「地産地消になる商品」(18.4%)が最も高くなり、「省エネ商品」(16.7%)、「リサイクル素材を使った商品」(15.0%)、「障がい者の支援につながる商品」(12.2%)、「地元の商店街で売られている商品」(11.9%)が続きました。

居住エリア別にみると、近畿では「リサイクル素材を使った商品」(16.5%)、九州・沖縄では「省エネ商品」(20.0%)が1位でした。

Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として積極的に買いたいものは？(複数回答)

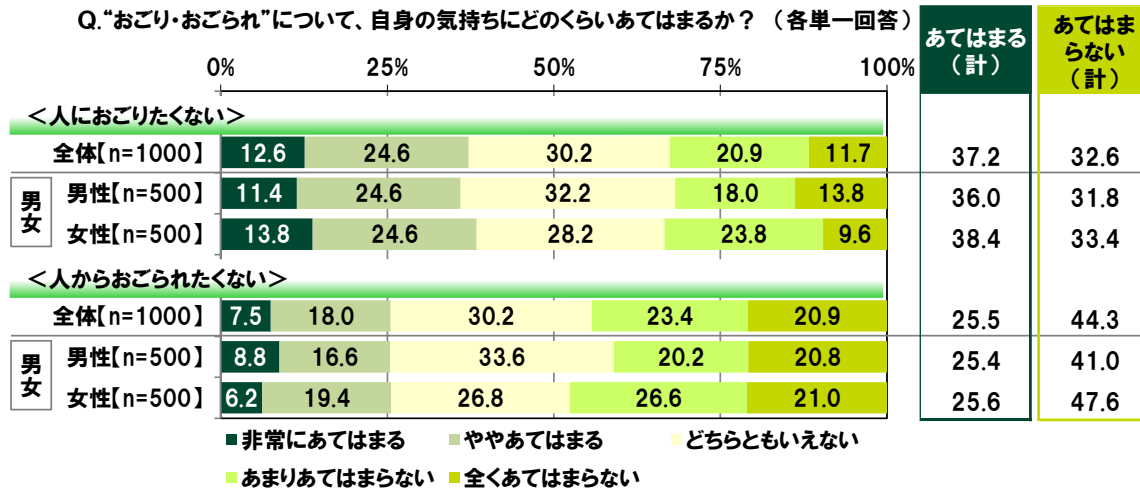


【20代のマネー意識】

- ≫ “おごり・おごられ”に対する意識 「人におごりたくない」37.2%、「人からおごられたくない」25.5%
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」50.6%、女性では 61.6%
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」63.0%、女性では 74.8%

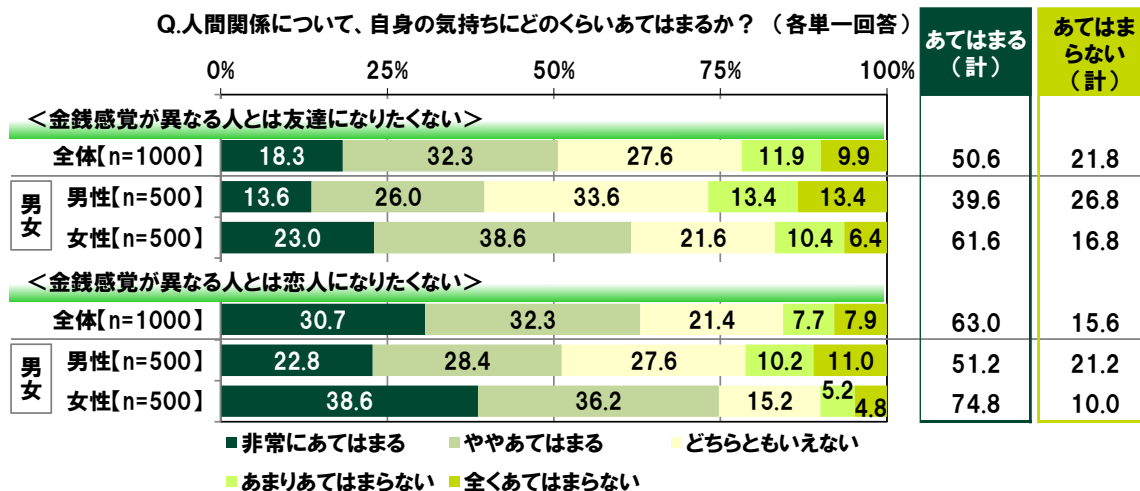
マネー意識について質問しました。

全回答者(1,000名)に、“おごり・おごられ”に対する意識を聞いたところ、<人におごりたくない>では「非常にあてはまる」が12.6%、「ややあてはまる」が24.6%で、合計した『あてはまる(計)』は37.2%となり、<人からおごられたくない>では『あてはまる(計)』は25.5%となりました。20代には、おごったりおごられたりすることに抵抗を感じている人が少なくないようです。



金銭感覚と人間関係についての意識を聞いたところ、<金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない>では『あてはまる(計)』は50.6%、<金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない>では『あてはまる(計)』は63.0%と、どちらも半数を超えました。

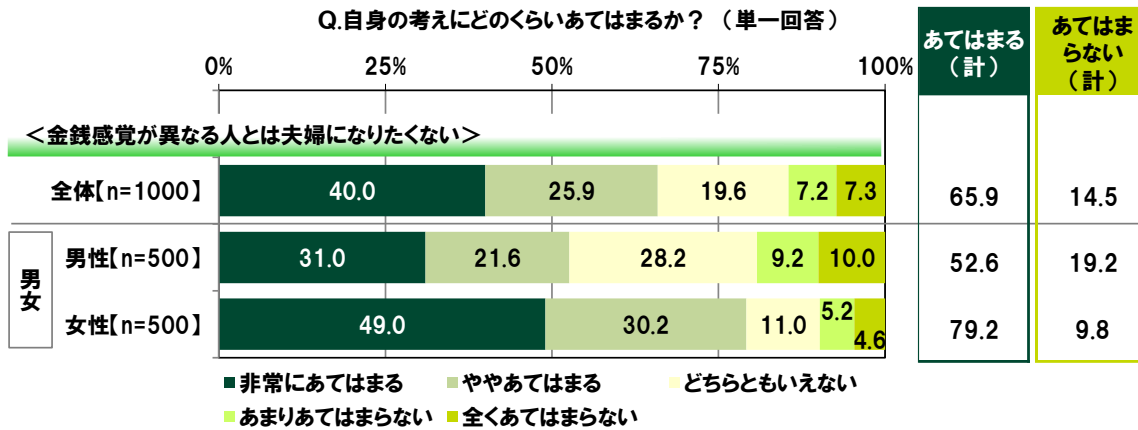
男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは友達になりたくないと回答した人の割合が61.6%、金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくないと回答した人の割合が74.8%と、男性(順に39.6%、51.2%)と比べて20ポイント以上高くなりました。女性には、金銭感覚が合わないことで起こるトラブルを避けるため、金銭感覚が異なる人とは距離を取っておきたいと思う人が多いのではないのでしょうか。



- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」65.9%、女性では 79.2%
- ≫ 「幸せになるにはお金が必要」74.1%、女性では 82.0%

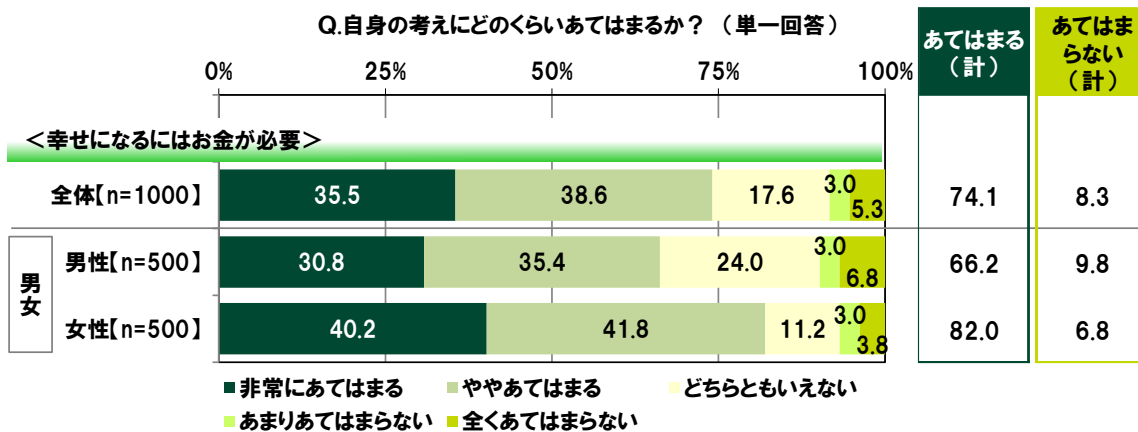
また、「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」では『あてはまる(計)』は 65.9%となりました。

男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと回答した人の割合が 79.2%と、男性(52.6%)と比べて 26.6 ポイント高くなりました。



さらに、お金と幸せの関係についての意識を聞いたところ、「幸せになるにはお金が必要」では『あてはまる(計)』は 74.1%となりました。

男女別にみると、女性では、幸せになるにはお金が必要と回答した人の割合が 82.0%と、男性(66.2%)と比べて 15.8 ポイント高くなりました。

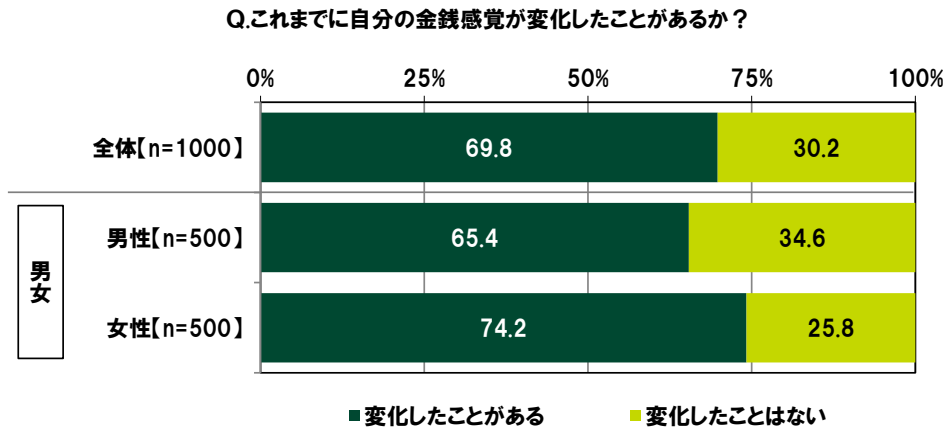


≫ 「これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある」69.8%

変化したきっかけ 1位「アルバイトを始めた」2位「クレジットカードを作った」3位「就職した」4位「一人暮らしを始めた」

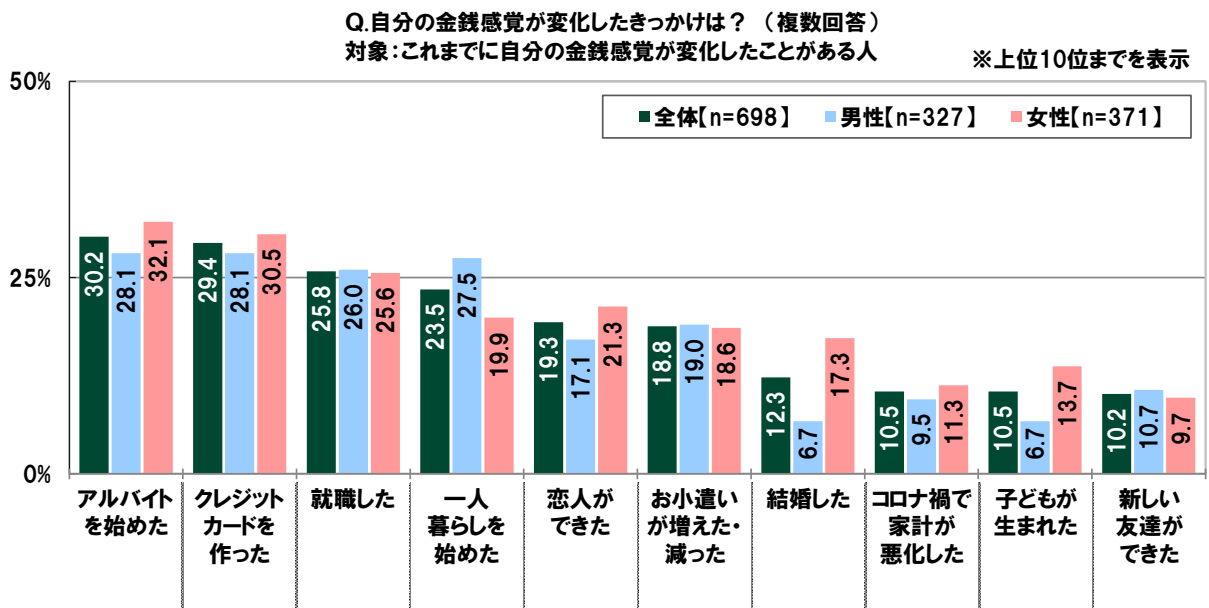
全回答者(1,000名)に、これまでに自分の金銭感覚が変化したことがあるか聞いたところ、「変化したことがある」は69.8%、「変化したことはない」は30.2%となりました。

男女別にみると、金銭感覚が変化したことがあると回答した人の割合は、女性では74.2%と、男性(65.4%)と比べて8.8ポイント高くなりました。



これまでに自分の金銭感覚が変化したことがある人(698名)に、金銭感覚が変化したきっかけを聞いたところ、「アルバイトを始めた」(30.2%)が最も高くなりました。自分で働いて収入を得る経験をしたことで、お金に対する考えや価値観が変化したという人が多いようです。次いで高くなったのは、「クレジットカードを作った」(29.4%)、「就職した」(25.8%)、「一人暮らしを始めた」(23.5%)、「恋人ができた」(19.3%)でした。

男女別にみると、女性では「結婚した」が17.3%と、男性(6.7%)と比べて10.6ポイント高くなりました。



≫ 夢や目標を実現するための費用の準備方法

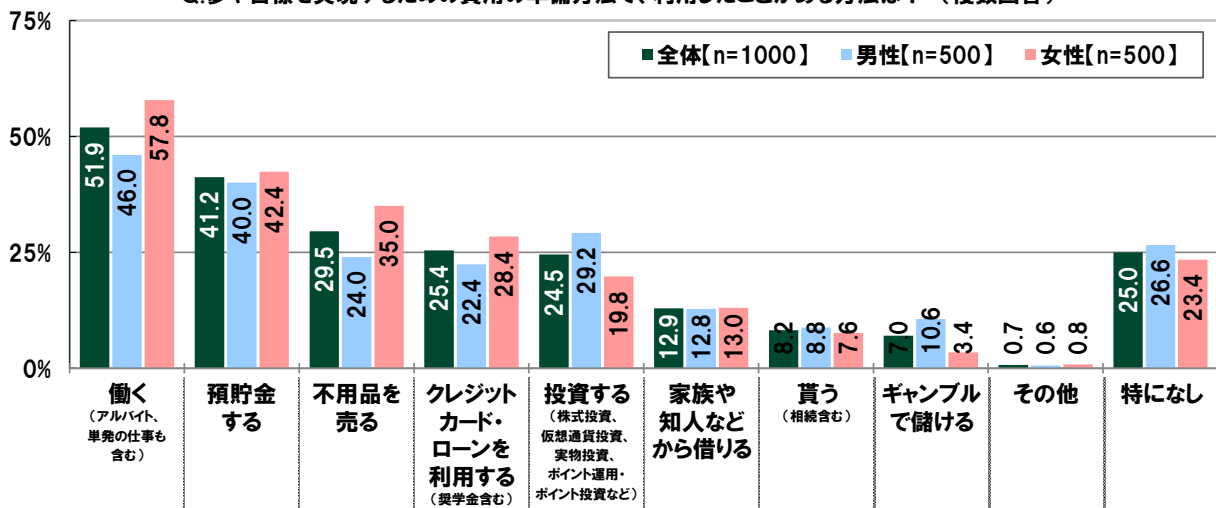
1位「働く」2位「預貯金する」3位「不用品を売る」4位「クレジットカード・ローンを利用する」5位「投資する」

全回答者(1,000名)に、夢や目標を実現するための費用の準備方法について質問しました。

まず、利用したことがある方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(51.9%)が最も高くなりました。実際に就業し、自分自身で収入を得ることで、夢や目標に向けてお金を貯めたことがある人が多いようです。次いで高くなったのは、「預貯金する」(41.2%)、「不用品を売る」(29.5%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(25.4%)、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(24.5%)でした。

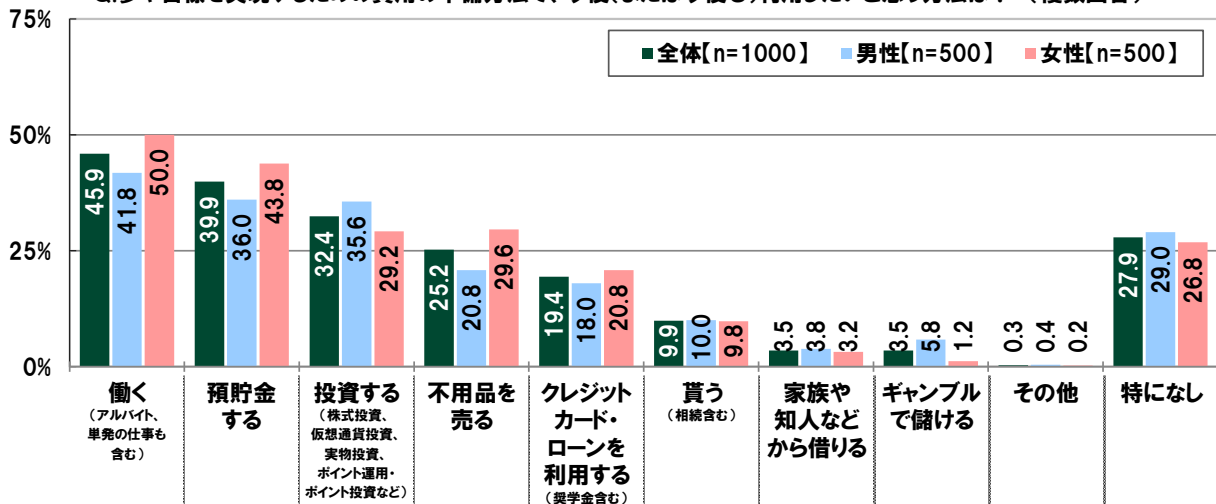
男女別にみると、女性では「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」が57.8%、「不用品を売る」が35.0%と、男性(順に46.0%、24.0%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、利用したことがある方法は？(複数回答)



また、今後(または今後も)利用したいと思う方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(45.9%)が最も高くなり、「預貯金する」(39.9%)、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(32.4%)、「不用品を売る」(25.2%)、「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(19.4%)が続きました。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、今後(または今後も)利用したいと思う方法は？(複数回答)

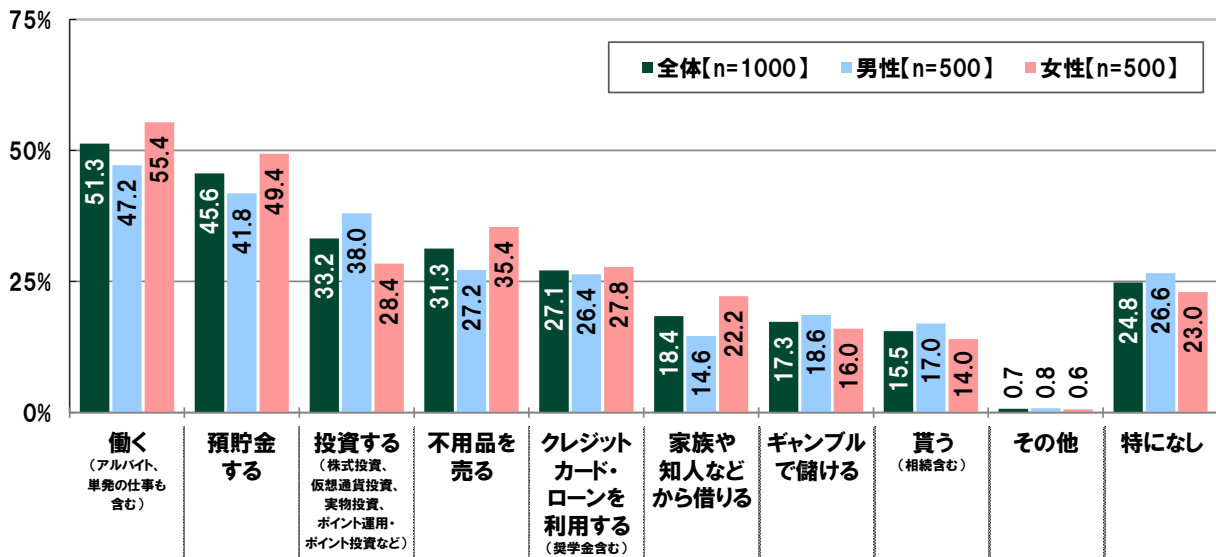


≫ 「投資」「クレジットカード・ローン利用」のメリット・デメリットの理解率は約3割にとどまる

夢や目標を実現するための費用の準備方法で、特徴(メリットやデメリット)を理解している方法を聞いたところ、「働く(アルバイト、単発の仕事も含む)」(51.3%)が最も高くなりました。自分で働いて収入を得ることのメリットやデメリットを理解している人は多いようです。

他方、「投資する(株式投資、仮想通貨投資、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)」(33.2%)や「クレジットカード・ローンを利用する(奨学金含む)」(27.1%)は約3割にとどまりました。投資やクレジットカード・ローンに関してはメリットやデメリットをしっかりと理解することが不可欠です。“知らなかった”ことでトラブルに遭うことがないように、金融リテラシーの向上を図ることが大切なのではないでしょうか。

Q.夢や目標を実現するための費用の準備方法で、特徴(メリットやデメリット)を理解している方法は？(複数回答)



【ライフイベントと収入事情】

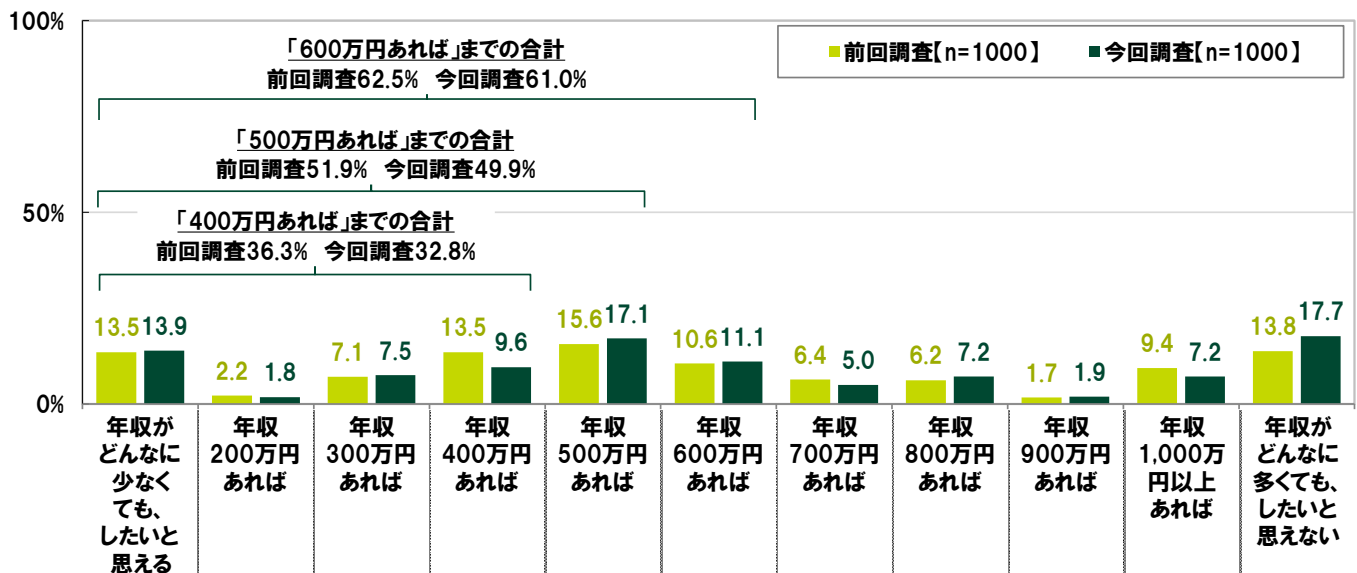
- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収600万円」、前回調査からハードルが上昇
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」20代の17.7%

ライフイベントと年収の関係について質問しました。

全回答者(1,000名)に、結婚しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収400万円以下と思える割合(「年収400万円あれば」までの合計)は32.8%、年収500万円以下と思える割合(「年収500万円あれば」までの合計)は49.9%、年収600万円以下と思える割合(「年収600万円あれば」までの合計)は61.0%となり、20代の半数以上が結婚をイメージできるのは年収600万円であることがわかりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」は17.7%となりました。

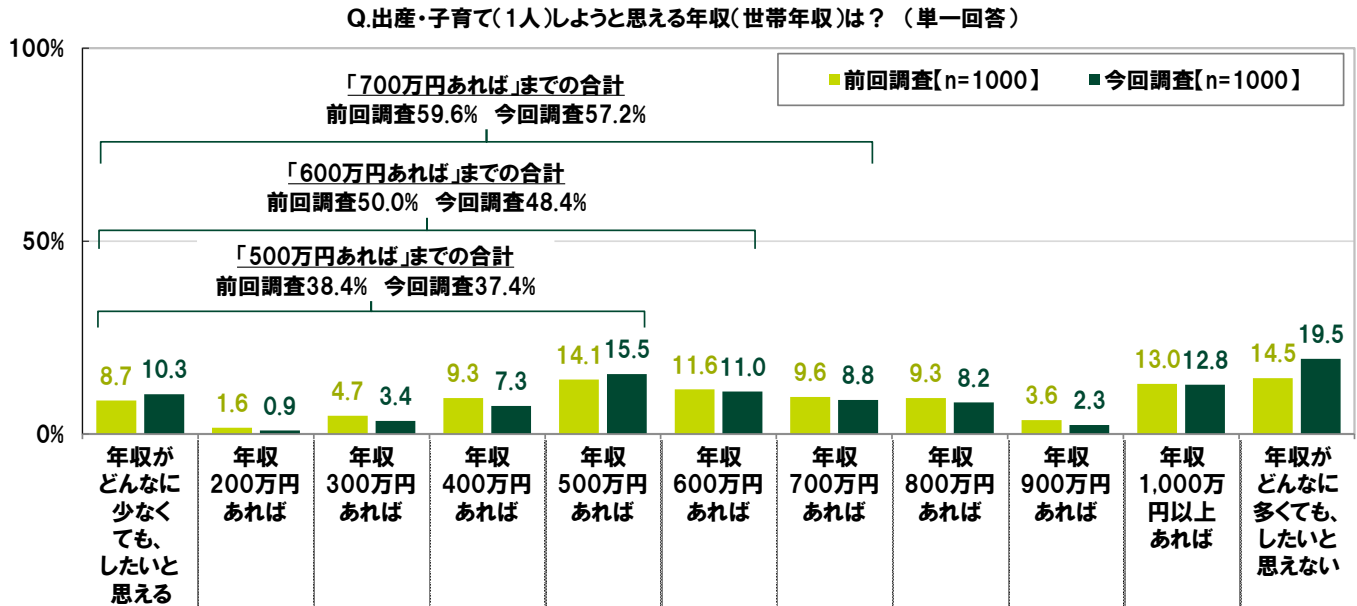
前回の調査結果と比較すると、半数以上が結婚しようと思えるのは前回調査では年収500万円(51.9%)だったのに対し、今回調査では年収600万円(61.0%)と、結婚へのハードルが上昇しました。

Q.結婚しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



≫ 20代の半数以上が1人目の子育てに前向きになるのは「年収700万円」、前回調査からハードルが上昇

出産・子育て(1人)しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収600万円(50.0%)だったのに対し、今回調査では年収700万円(57.2%)と、結婚と同様に出産・子育てに対するハードルが上昇しました。また、「年収がどんなに多くても、したくない」と回答した人の割合は、前回調査14.5%→今回調査19.5%と、5.0ポイントの上昇となりました。

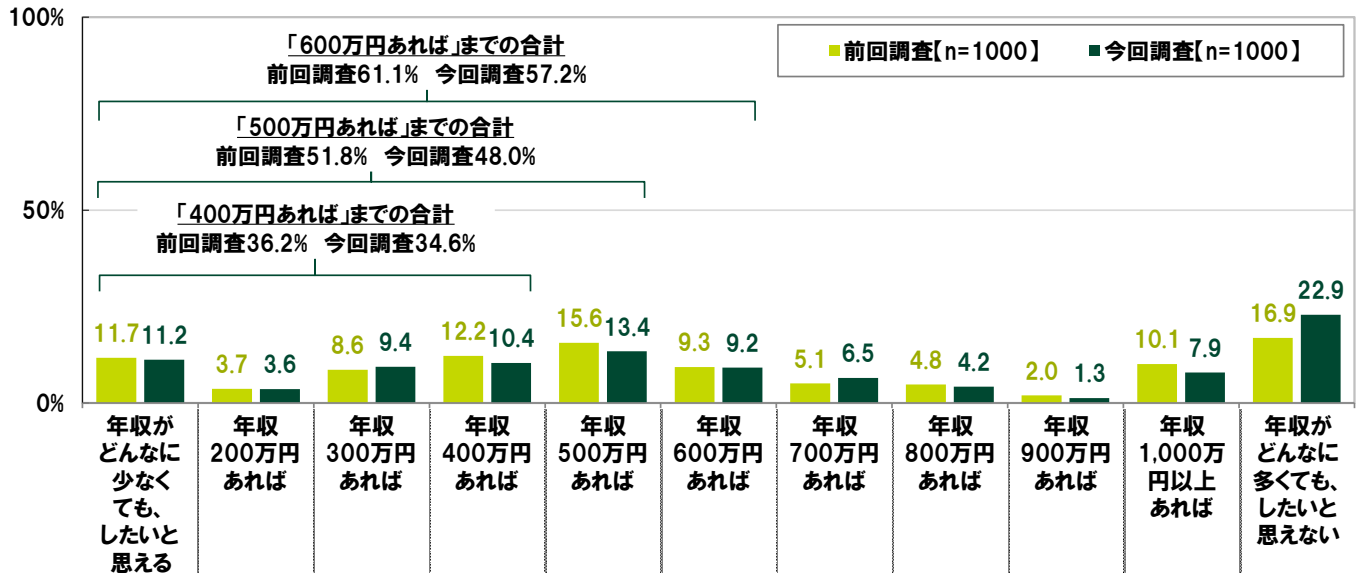


- 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 600 万円」、前回調査からハードルが上昇
- 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 800 万円」

自家用車を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 400 万円でしょうと思える割合は 34.6%、年収 500 万円でしょうと思える割合は 48.0%、年収 600 万円でしょうと思える割合は 57.2%と、半数以上が自家用車の購入をイメージできるのは年収 600 万円となりました。

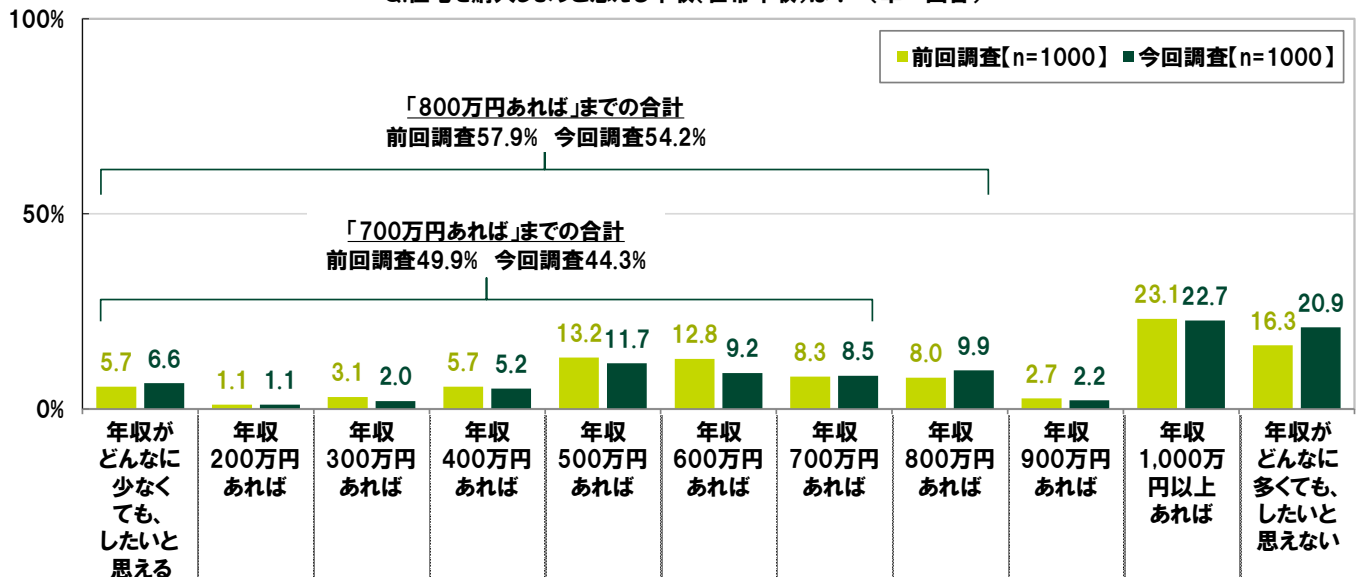
前回の調査結果と比較すると、半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは前回調査では年収 500 万円 (51.8%) だったのに対し、今回調査では年収 600 万円 (57.2%) と、ハードルが上昇しました。

Q.自家用車を購入しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



また、住宅を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20 代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収 800 万円 (57.9%)、今回調査でも年収 800 万円 (54.2%) でした。

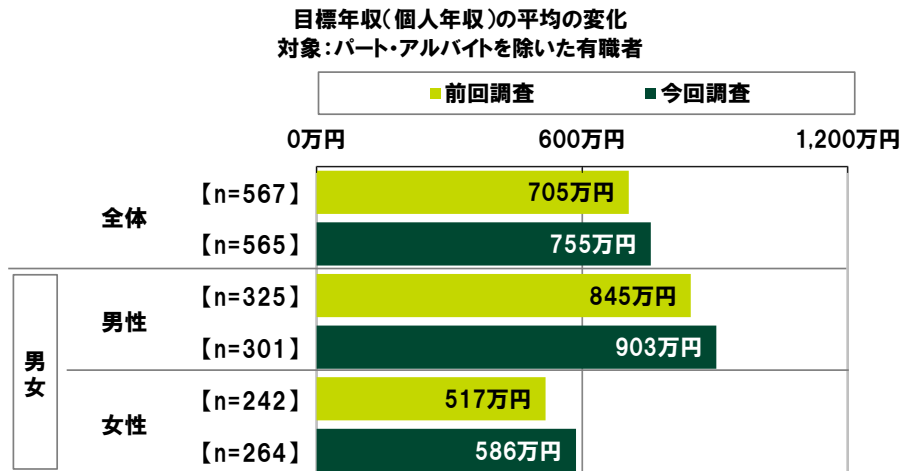
Q.住宅を購入しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



- 20代有職者の目標年収 平均 755万円、前回調査から 50万円の増加
- 20代有職者が管理職になってもいいと思える年収 平均 949万円、前回調査から 42万円の増加

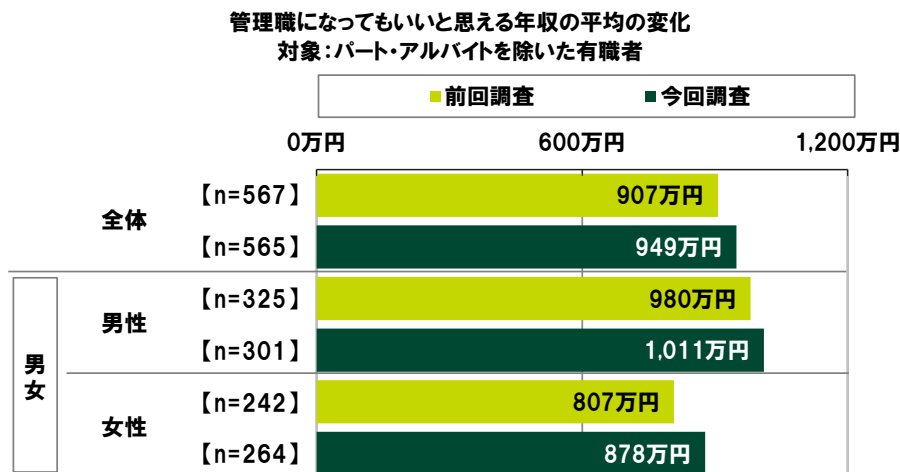
パート・アルバイトを除いた有職者(565名)に、目標年収(個人年収)を聞いたところ、平均は755万円で、男女別にみると、男性では903万円、女性では586万円でした。

前回の調査結果と比較すると、目標年収の平均は、全体では50万円の増加(前回調査705万円→今回調査755万円)となり、男性では58万円の増加(前回調査845万円→今回調査903万円)、女性では69万円の増加(前回調査517万円→今回調査586万円)となりました。



また、管理職になってもいいと思える年収を聞いたところ、平均は949万円で、男女別にみると、男性では1,011万円、女性では878万円でした。

前回の調査結果と比較すると、管理職になってもいいと思える年収の平均は、全体では42万円の増加(前回調査907万円→今回調査949万円)となり、男性では31万円の増加(前回調査980万円→今回調査1,011万円)、女性では71万円の増加(前回調査807万円→今回調査878万円)となりました。



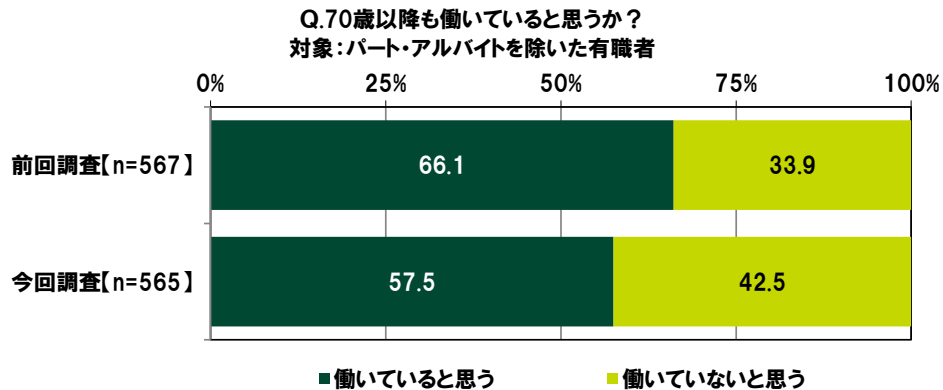
≫ 「70歳以降も働いていると思う」20代有職者の57.5%

働いていると思う理由「経済的にゆとりのある生活をしたい」「健康維持のため」は前回調査から約10ポイント上昇

70歳以降の就労について質問しました。

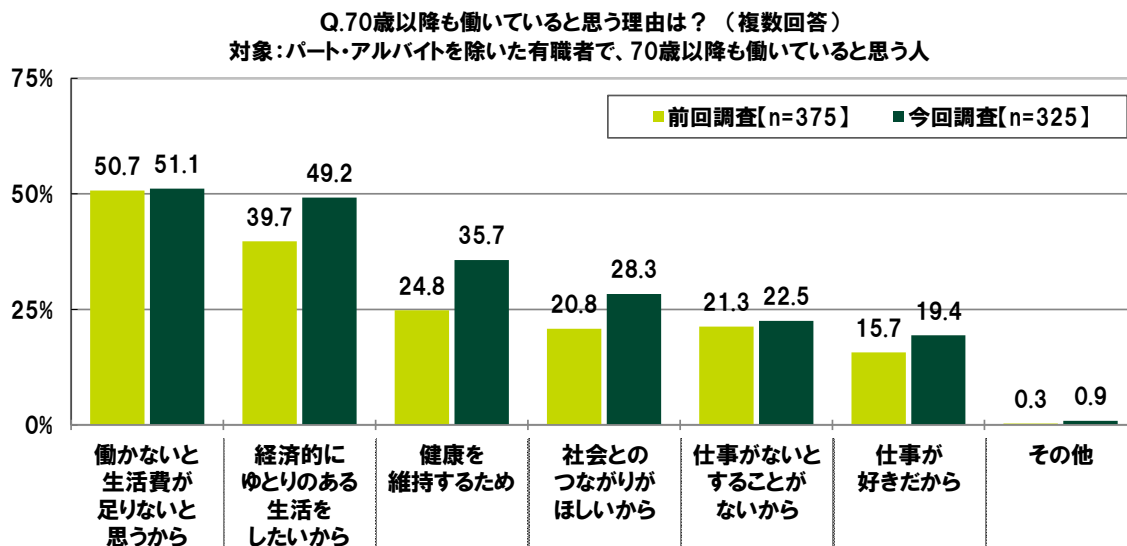
パート・アルバイトを除いた有職者(565名)に、70歳以降も働いていると思うか聞いたところ、「働いていると思う」は57.5%、「働いていないと思う」は42.5%となりました。

前回の調査結果と比較すると、70歳以降も働いていると思う人の割合は、前回調査66.1%→今回調査57.5%と、8.6ポイントの下降となりました。



70歳以降も働いていると思う人(325名)に、そう思う理由を聞いたところ、「働かないと生活費が足りないと思うから」(51.1%)が最も高くなり、「経済的にゆとりのある生活をしたいから」(49.2%)、「健康を維持するため」(35.7%)、「社会とのつながりがほしいから」(28.3%)、「仕事がないとすることがないから」(22.5%)、「仕事が好きだから」(19.4%)が続きました。

前回の調査結果と比較すると、「経済的にゆとりのある生活をしたいから」は9.5ポイントの上昇(前回調査39.7%→今回調査49.2%)、「健康を維持するため」は10.9ポイントの上昇(前回調査24.8%→今回調査35.7%)となりました。70歳以降も働き続けることで、経済面や健康面で充実したセカンドライフを送りたいと考える人が多いようです。

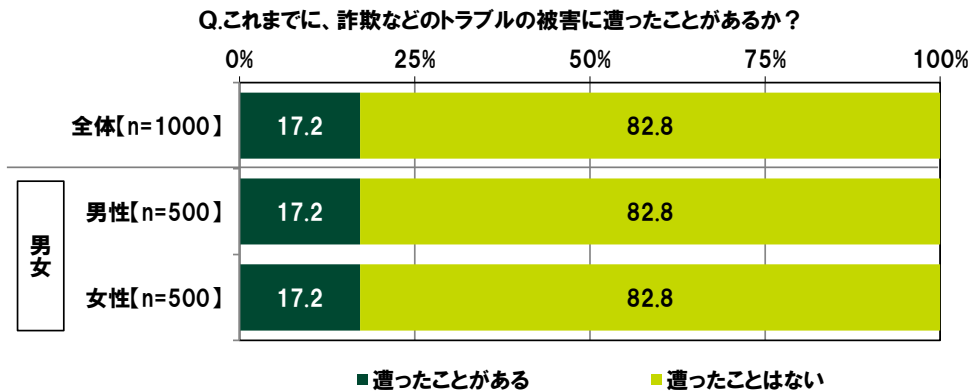


【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】

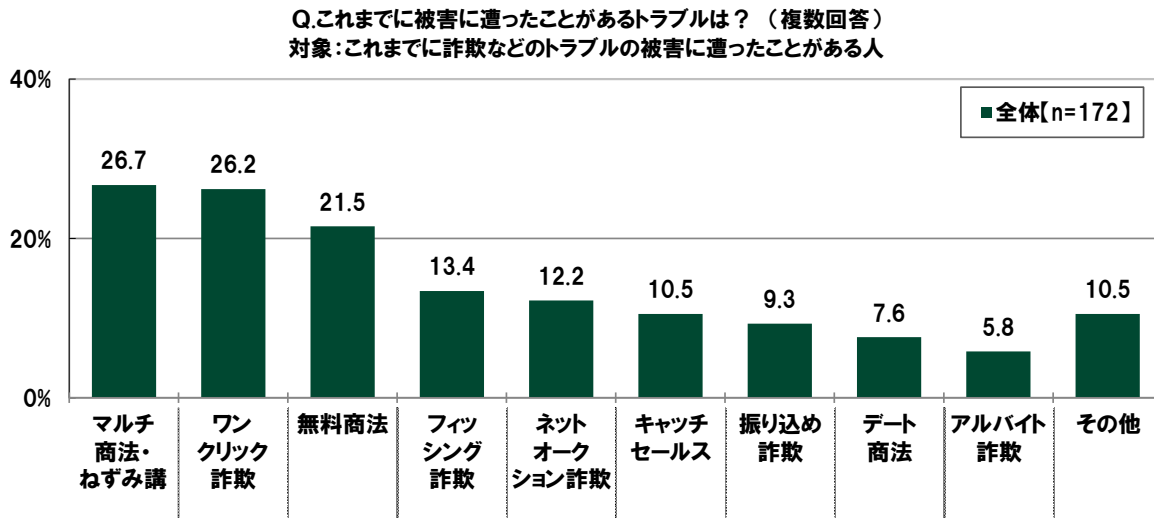
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」17.2%
 経験した詐欺被害 TOP2 は「マルチ商法・ねずみ講」「ワンクリック詐欺」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」28.0%

詐欺などのお金に関するトラブルについて質問しました。

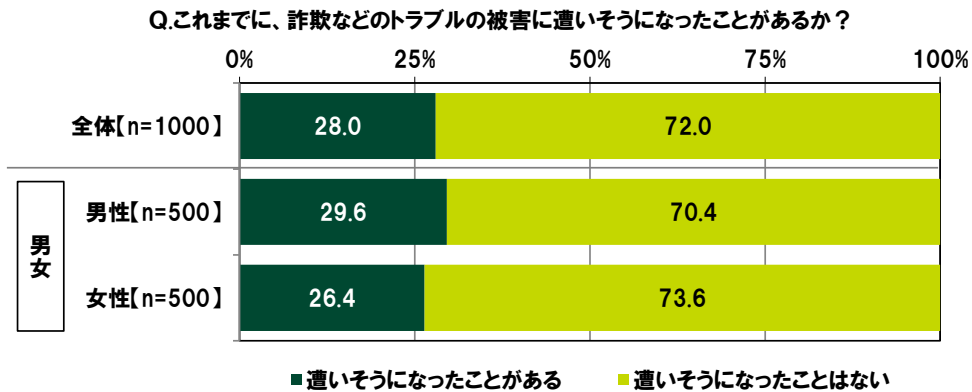
全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか聞いたところ、「遭ったことがある」は17.2%、「遭ったことはない」は82.8%となりました。



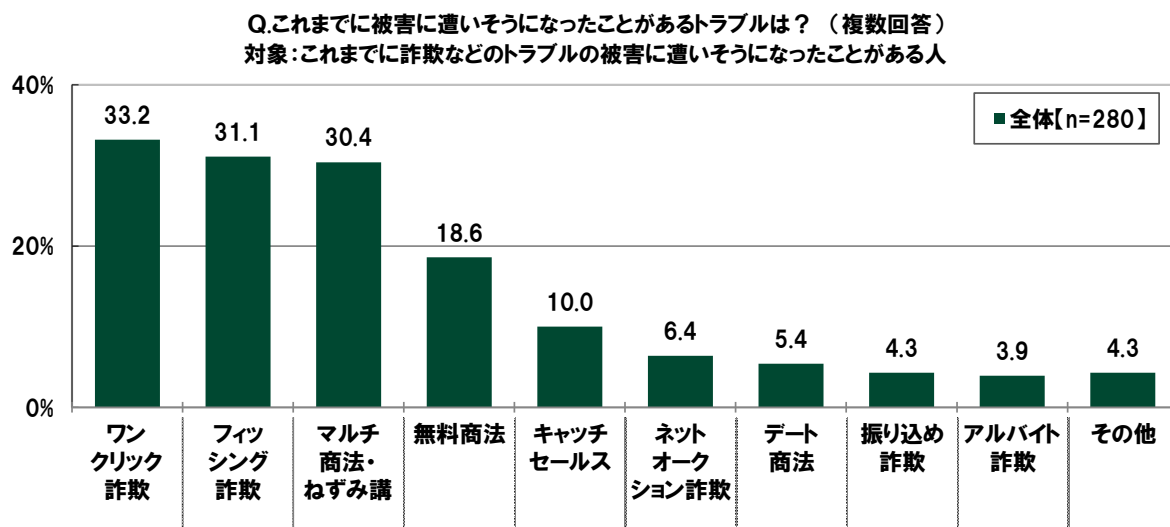
これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(172名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(26.7%)と「ワンクリック詐欺」(26.2%)が特に高くなり、「無料商法」(21.5%)、「フィッシング詐欺」(13.4%)、「ネットオークション詐欺」(12.2%)が続きました。



また、全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか聞いたところ、「遭いそうになったことがある」は28.0%、「遭いそうになったことはない」は72.0%となりました。



これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(280名)に、被害に遭いそうになったトラブルを聞いたところ、「ワンクリック詐欺」(33.2%)が最も高くなり、「フィッシング詐欺」(31.1%)が続きました。インターネットを利用している際に、巧妙な手口の詐欺に遭いそうになった経験があるという人が多いようです。次いで高くなったのは、「マルチ商法・ねずみ講」(30.4%)、「無料商法」(18.6%)、「キャッチセールス」(10.0%)でした。



≫ 学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”

1位「資産形成・資産運用」2位「保険・リスク管理」3位「生活設計」4位「家計管理」5位「お金のトラブル」

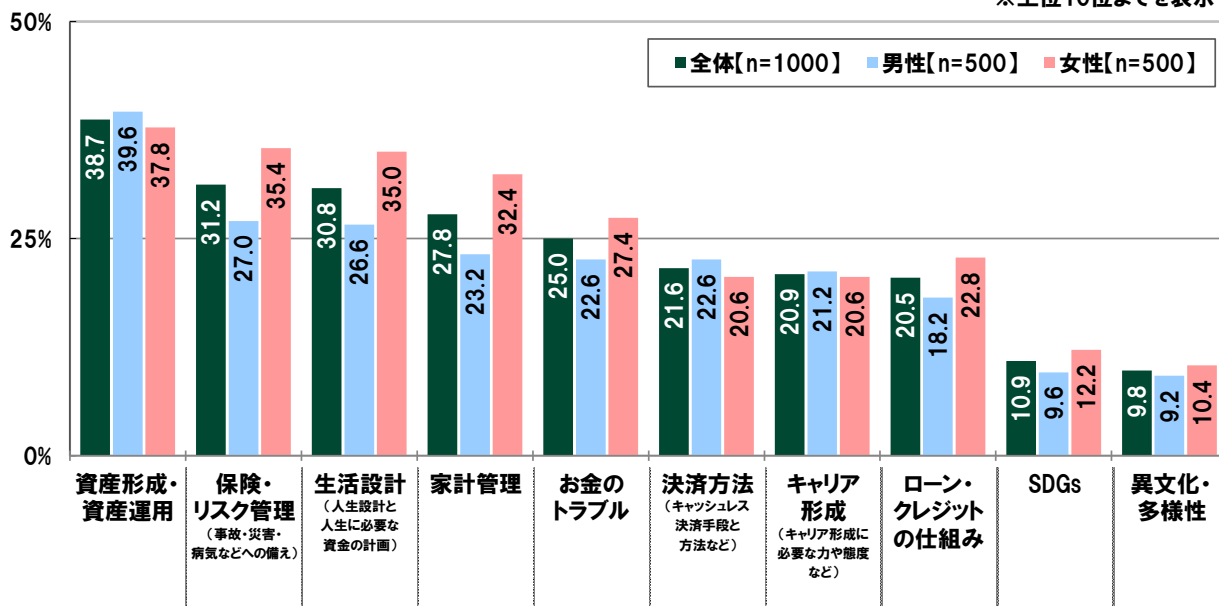
最後に、金融リテラシーについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”を聞いたところ、「資産形成・資産運用」(38.7%)が最も高くなりました。生活資金に対する不安を和らげるために、資産の形成方法や運用方法についてしっかりと学びたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(31.2%)、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(30.8%)、「家計管理」(27.8%)、「お金のトラブル」(25.0%)でした。

男女別にみると、女性では「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」が35.4%、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」が35.0%、「家計管理」が32.4%と、男性(順に27.0%、26.6%、23.2%)と比べて5ポイント以上高くなりました。

Q.学びたいと思う“社会の中で生きるための知識”は？(複数回答)

※上位10位までを表示



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 20代の金銭感覚についての意識調査 2023
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳~29歳の男女
- ◆調査期間 : 2022年11月25日~28日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	20代前半	20代後半
男性	250	250
女性	250	250

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBC コンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 担当 : 広報サステナビリティ推進部 岡田、呉藤
 TEL : 03-6887-1274
 Eメール : corporate_info@smbc-cf.com
 受付時間 : 9時00分~17時30分(月~金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 (英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)
 設立 : 1962年(昭和37年)3月20日
 代表者名 : 金子 良平
 所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号
 事業内容 : 貸金業・保証業